

家族の安否確認先

一時避難場所	
避 難 所	
集 合 場 所	
緊急連絡先	

※一時避難場所(いっときひなんばしょ)とは、自主防災組織や自治会などで決めた、災害時に危険回避のため一時的に避難する広場、公園、空地など。

家族・親戚等の連絡先

名 前	生年月日	血液型	会社名・学校名・住所	電 話 番 号

緊急連絡先

施 設 名	所 在 地	電 話 番 号

地域の特記事項

●お問い合わせ
三木町 総務課 危機管理係

〒761-0692 香川県木田郡三木町大字氷上310番地
TEL:087-891-3301 内線:2114・2115 FAX:087-898-1994
<http://www.town.miki.lg.jp/>

出典:中央防災会議資料、一般財団法人消防科学総合センター

平成28年3月 15,000部

防 災

三木町 ハザード マップ



日頃の備えが命を守る!
ハザードマップを活用し、災害に備えましょう。

三木町 ハザード マップ

保存版

Contents
目次

地震

ハザードマップの使い方	1
地震の知識 [南海トラフ地震]	2
地震に備えよう [屋内・屋外]	3
地震が起きたら [行動パターン]	4-5
[こんな場所で地震にあったら]	4-5
火災が発生したら	6
液状化について	7



風水害

家の周囲の対策ポイント／家庭でできる浸水対策	8
雨の降り方と警戒の目安	9
河川の水位名称・避難行動の目安	9
風の強さと警戒の目安	10
ため池決壊について	10
ため池の決壊の起り方とその被害	10

土砂 災害

土砂災害の種類と前兆現象	11
--------------	----

自主 防災

避難を開始するタイミング	12
避難にあたっての注意事項	12
正しい情報を入手しよう	13
自主防災に取り組もう	14-15
誘導する際のポイント	16
避難所生活での注意点	17
心肺蘇生のしかた	18-19
AED の使い方	18
応急手当のポイント	19

写真：一般財団法人 消防科学総合センター

土砂災害ハザードマップ	20-29
洪水ハザードマップ	30-39
ため池ハザードマップ	40-59
非常時の持ち出し品チェックリスト	60
避難所一覧・救急病院・困ったときの連絡先	61



ハザードマップの 使い方

このハザードマップは、自分が知っておくべき「危険箇所」、「避難所」、「避難経路」、「家族との連絡方法」などの必要な情報を書き込んで「あなたのハザードマップ」を作成してください。

1

自宅の位置を確認する

自宅の位置に印をつけましょう。



2

浸水や土砂災害などの 危険な場所を確認する

浸水や土砂災害等による被害が想定される範囲は、地図面に色分けして表示されています。自宅周辺でこれらの危険な場所を確認しましょう。



3

避難する場所を確認する

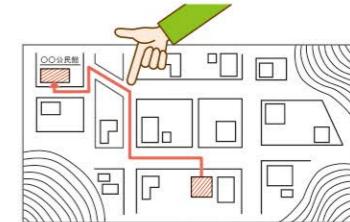
地図面には町で指定している避難所が記載されています。最も安全な最寄りの避難所の「位置」と「名前」を2か所以上確認しておきましょう。



4

安全な避難経路を考える

自宅から最寄りの避難所（3で決めた場所）までの避難経路を考えて書き込んでおきましょう。その際、できるだけ「浸水による危険な場所」や「土砂災害の危険な場所」を避けて設定しましょう。



5

災害時の対応の仕方を話し合う

「自宅周辺の危険箇所」、「避難所」、「避難経路」、「避難の仕方」などについて、家族やご近所の方とあらかじめ話し合ってください。危険が迫った時、自ら避難出来る様にしておくことが重要です。また、配慮が必要な方の避難支援や避難の手段などについて話し合っておくことも重要です。

6

自分たちの目で 避難経路を確認する

2から5で確認した避難所や避難経路について、実際に家族や近所の人たちと一緒に歩いてみましょう。その際、施設や避難経路の安全性や注意点を確認して記録しておきましょう。



7

非常時の持ち出し品を 準備しておく

「非常時の持ち出し品チェックリスト」を参考に、避難するときのために持ち出し品について確認し合い、必要なものを準備しておきましょう。



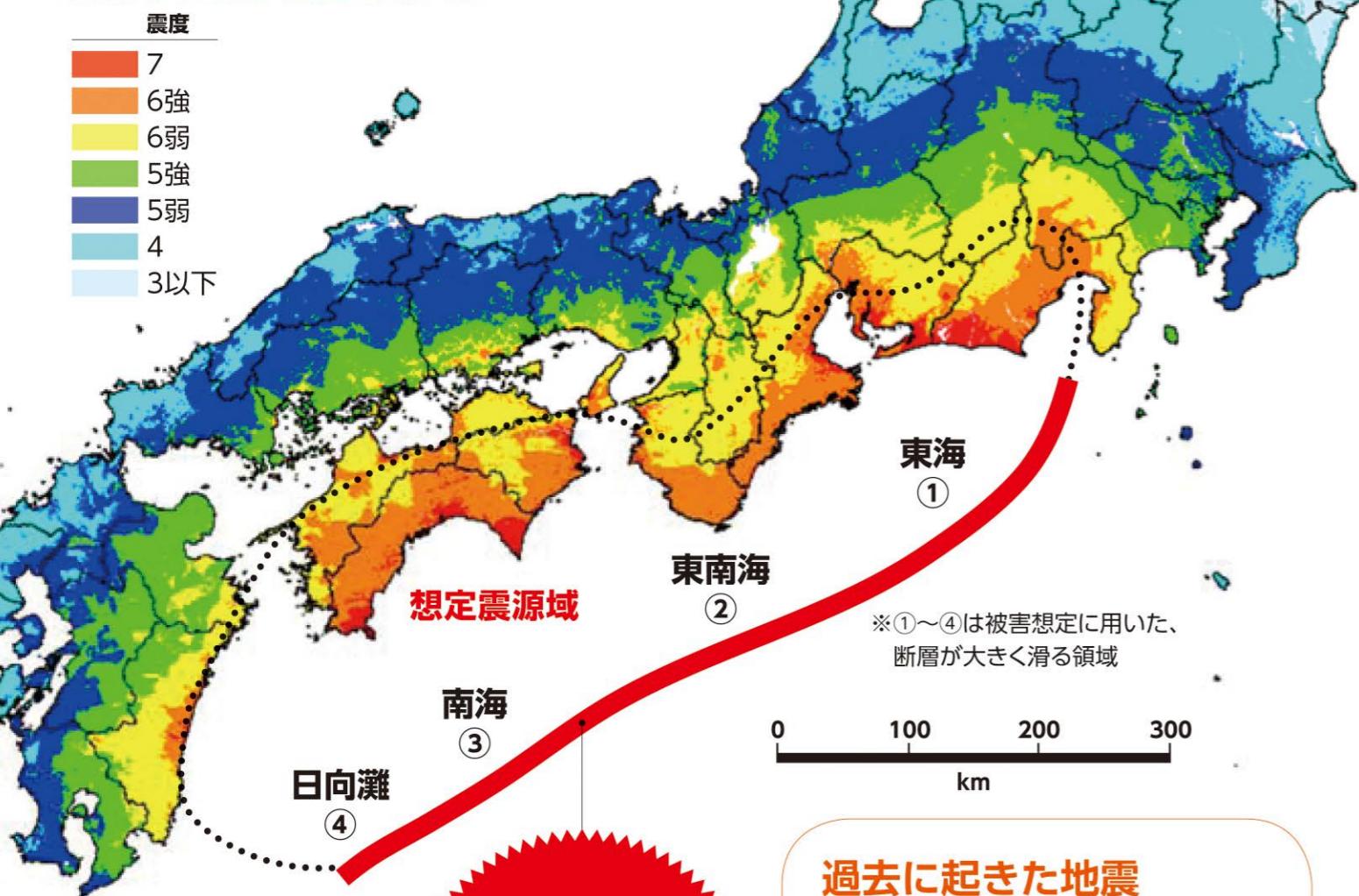
地

地震の知識 [南海トラフ地震]

今後30年以内の発生確率は70%

東海沖から四国沖にかけての領域を震源とする南海トラフ地震は、今世紀前半にも発生するおそれがあり、今後、30年以内の発生確率は、70%とされています。南海トラフ地震が発生した場合、マグニチュード9クラスの巨大地震であると考えられており、関東から九州にかけての広い地域に強い揺れや津波が来襲すると想定されています。

南海トラフ巨大地震による震度の最大値の分布



南海
トラフ

過去に起きた地震

(中央防災会議資料を基に作成)

1946年	南海地震	M 8.0
1944年	東南海地震	M 7.9
1854年	安政東海地震	M 8.4
1854年	安政南海地震	M 8.4
1707年	宝永地震	M 8.6
1605年	慶長地震	M 7.9

震

地震に備えよう [屋内・屋外]

地震の発生に備えて、建物や土地の安全性など、私たちの身のまわりに危険箇所があるのかチェックし、事前に安全対策をしておきましょう。

家の中の安全確認

転倒防止金具	重ね止め用金具	扉・引き出し解放防止金具	
壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、床などに固定するタイプがあります。			
収納に工夫を	照明器具の補強を	落ちる危険のあるものは置かない	ガラスの飛散防止対策を
重いものは下に、軽いものは上に収納しましょう。本棚などは、なるべく隙間を作らないようにしましょう。	天井に直接取り付けるタイプの照明を使用しましょう。吊り下げ式のものは、鎖と金具を使って数箇所留めて補強しましょう。	テレビはできるだけ低い位置に固定しておきましょう。家具の上に落ちる危険のあるものを置かないようにしましょう。	飛散防止フィルムを貼りましょう。食器棚などに使われているガラスにも飛散防止フィルムを貼りましょう。

家の周囲の安全対策

屋根

不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておきましょう。



ベランダ

植木鉢やエアコンの室外機は配置を換えるか固定しておきましょう。

ブロック塀

ブロック塀はしっかり点検補強をしておきましょう。

窓ガラス

飛散防止フィルムを貼りましょう。

プロパンガス
ボンベをしっかりと鎖で補強しておきましょう。

写真：一般財団法人 消防科学総合センター



避難



自主防災



土砂災害ハザードマップ



洪水ハザードマップ



ため池ハザードマップ

3



写真：一般財団法人 消防科学総合センター

地震が起きたら [行動パターン]

地震発生

- 落ち着いて、自分の身を守る。机の下などへ隠れる。倒れてくる家具や落下物に注意する。
- 火の始末は素早くコンロの火を消し、ガスの元栓を閉める。無理はしない。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。



津波、山・かけ崩れの危険が予想される地域は身の安全を確認してすぐ避難

1~2分

- 火元を確認、出火しているたら初期消火を行う。
- 家族の安全を確認する。
- 靴を履く。ガラスの破片などから足を守る。
- 非常時持出品を手近に用意する。



3分

- 隣近所の安全を確認。特に、一人暮らし高齢者など災害時要配慮者がいる世帯には積極的に声をかけ、安否を確認する。火が出ていたら大声で知らせ、協力して消火する。
- 電話はなるべく使わない。
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する。ブロック塀やガラスに注意する。車は使用しないこと(山間部などの一部地域を除く)。
- 余震に注意。大きな地震の後には余震が発生する。



5分

- ラジオなどで情報を確認。間違った情報にまどわされないように。
- 電話はなるべく使わない。
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する。ブロック塀やガラスに注意する。車は使用しないこと(山間部などの一部地域を除く)。
- 余震に注意。大きな地震の後には余震が発生する。



大きな地震が発生したら、一瞬の判断が生死を分けることがあります。地震が起きてても「慌てず、落ち着いて」行動するために行動パターンを覚えておきましょう。

5~10分

- さらに出火防止を。ガスの元栓を閉める。通電火災を防ぐため、電気のブレーカーを落とす(ライフラインの復旧後の思わぬ火災を防止します)。



10分~数時間

- 消火・救出活動。隣近所で協力して消火や救出を行なう。あわせて消防署等へ通報する。



~3日くらい

- 生活必需品は備蓄でまかなく。災害発生から数日間は、外部からの応援は期待できない。
- 災害情報、被害情報の収集。町役場の広報に注意する。
- 壊れた家には入らない。
- 引き続き余震に警戒する。



避難所生活では

- 自主防災組織を中心に行動する。
- 集団生活のルールを守る。
- 助け合いの心で。



地震が起きたら [こんな場所で地震にあったら] 家にいるとき



なによりも大切なものは命です。まず第一に身の安全を確保しましょう。ある程度揺れが収まってから次の行動に移りましょう。

みんなで声をかけあい、ガス器具やコンロ、ストーブなどの火を消しましょう。閉じ込められないよう玄関や窓を開け出口を確保しましょう。

テレビやラジオなどで正確な情報を得るようにし、デマにはまどわされないようにしましょう。

外出先では

街頭にいるときは	スーパーなどの建物の中では	車を運転しているときは	学校にいるときは
<ul style="list-style-type: none"> ●落下物から頭を守る。 ●ビルや建物から離れ、安全と思われる場所へ避難する。 ●非常口へは走らず、階段は駆け降りない。 ●ブロック塀、自動販売機、店頭のショーウィンドーには近づかない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ガラスや陳列台から離れ、落下物から頭を守る。 ●非常口へは走らず、階段は駆け降りない。 ●車を離れるときはキーを付けたままにし、ドアもロックしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●徐々に速度を落とし、道の左端に止める。 ●緊急車両を優先させる。 ●車を離れるときはキーを付けたままにし、ドアもロックしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●机があれば下に隠れ、落下物から身を守る。 ●体育館、運動場では中央に集まりしゃがむ。 ●避難するときは先生の言うことを聞いて、落ち着いて行動し、勝手に帰宅しない。

火災が発生したら

火災が発生した場合、最初の2~3分が勝負です。この時期を逸すると天井に火が回り消火が困難になります。このような場合は、消火をあきらめて早めに避難しましょう。

初期消火の仕方



消火器の使い方

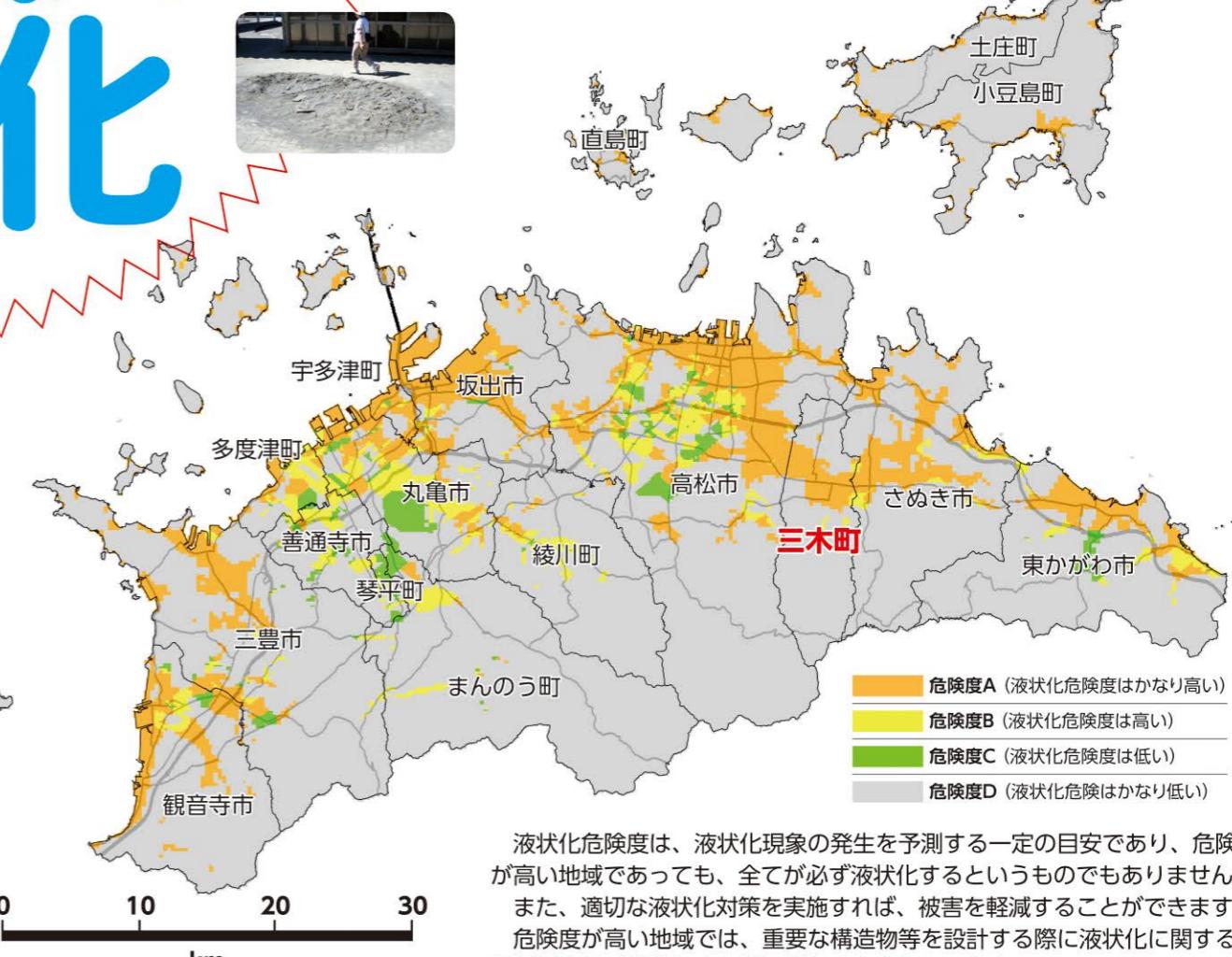


火災 液状化

液状化について

香川県液状化危険度予測図 (南海トラフの最大クラスの地震)

南海トラフで、千年に一度あるいはそれよりもっと低い頻度で発生するが、発生すれば、甚大な被害をもたらす最大クラスの地震のこと。この液状化危険度予測図は、南海トラフで最大クラスの地震を発生させる断層モデルとして国が示した4つのモデルごとに液状化危険度を算出し、各地点ごとにその危険度の高いものを示した図です。



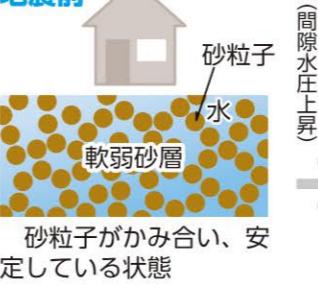
液状化危険度は、液状化現象の発生を予測する一定の目安であり、危険度が高い地域であっても、全てが必ず液状化するというものではありません。

また、適切な液状化対策を実施すれば、被害を軽減することができます。

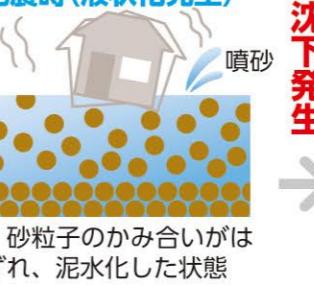
危険度が高い地域では、重要な構造物等を設計する際に液状化に関する詳細な調査及び対策をする必要があるとされています。

液状化とは

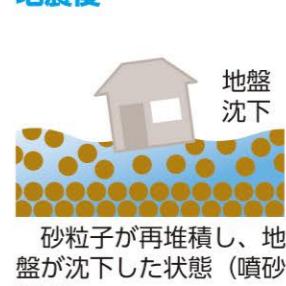
地震前



地震時(液状化発生)



地震後



液状化とは、地震によって地盤が一時的に液体のようになってしまう現象で、地盤上の建物を傾かせたり沈ませたりします。

液状化により道路に段差が生じたり、砂や水などが噴出し、避難の妨げになることがあります。液状化による被害も考慮し、揺れが収まったら、速やかに避難を開始しましょう。

風

風水害に備えよう

水

風水害は、ある程度予測できるからと安易に考えてはいませんか？

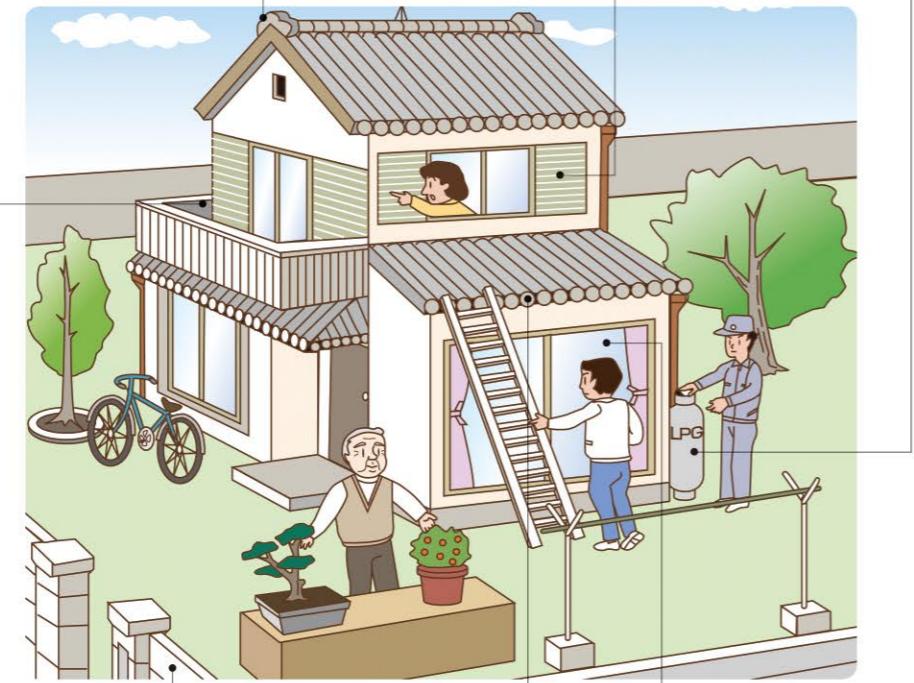
台風や集中豪雨は私たちに何度も災害をもたらしています。油断せず、準備に時間が必要なことから十分な対策を立てておきましょう。

害

家の周囲の対策ポイント

ベランダ

鉢植えや物干し竿など落下の危険が高いものは室内に入れましょう。



ブロック塀

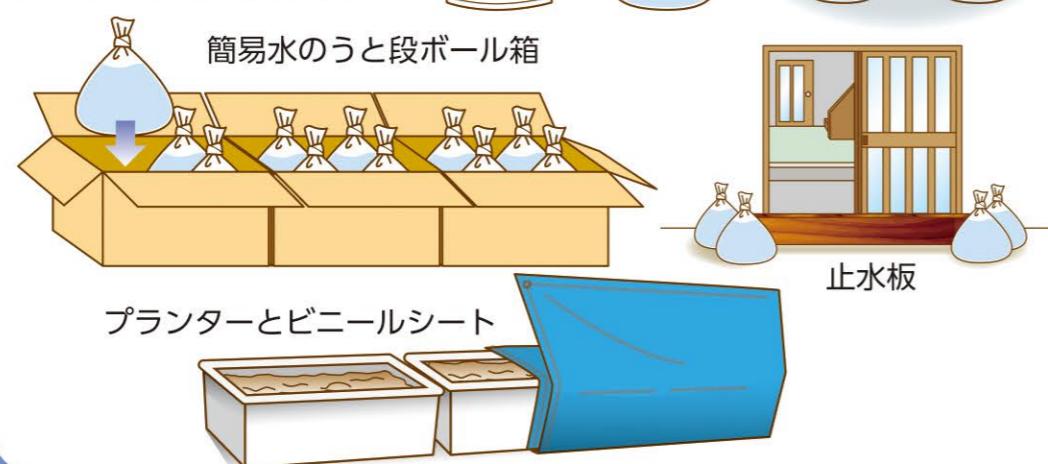
ひび割れや破損個所は補強しておきましょう。

側溝

側溝のゴミや土砂を取り除き、雨水の排水をよくしておきましょう。

家庭ができる 浸水対策

初期の小規模な洪水のときは、身近にある材料で浸水を最小限に防ぐ方法を知っていると役立ちます。



雨戸

がたつきや、ゆるみなどがあれば補強しておきましょう。

プロパンガス

ボンベをしっかり鎖で補強しておきましょう。

雨どい

窓ガラス

ひび割れ、窓枠のがたつきはないか確認。また強風による飛来物に備えて、外側から板で塞ぐなどの処置をしておきましょう。

雨の降り方と警戒の目安

1時間の雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量が多い場合には災害が発生しやすくなります。注意報や警報が発表されたら、テレビ、ラジオやインターネットを活用して情報収集に心掛けましょう。

やや強い雨

1時間に10~20㍉の雨

傘をさしていても、地面からの跳ね返りで足下が濡れます。長雨になる場合は災害への注意が必要。



非常に激しい雨

1時間に50~80㍉の雨

滝のような雨で、水しぶきで辺り一面白っぽくなり、視界が悪くなる。洪水や内水はん濫など多くの災害が起こりやすくなる。



強い雨

1時間に20~30㍉の雨

傘をさしていても、全身が濡れるほどの土砂降り。小規模な浸水等が発生する可能性がある。



激しい雨

1時間に30~50㍉の雨

バケツをひっくり返したような雨で、道路が川のようになる。洪水の危険性が高く、避難の準備が必要。



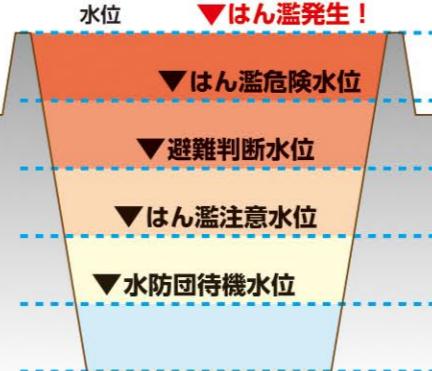
注意報や警報の発表

高松地方気象台では、「強い雨」や「激しい雨」以上の雨が降ると予想される時は、大雨注意報、大雨警報や大雨特別警報を発表し、注意や警戒を呼びかけます。また、土砂災害発生の可能性が高まった時には、香川県と気象台が連携して土砂災害警戒情報発表します。

大雨・洪水注意報・警報の発表基準

種類	発表基準
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合。若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨となると予想される場合
記録的短時間大雨情報	数年に1回程度しか発生しないような1時間に90mm前後の猛烈な雨が観測された場合
大雨警報	大雨によって、重大な災害が発生するおそれがある場合
洪水警報	洪水によって、重大な災害が発生するおそれがある場合
大雨注意報	大雨によって、災害が発生するおそれがある場合
洪水注意報	洪水によって、災害が発生するおそれがある場合

河川の水位名称・避難行動の目安



一般的な目安

- 河川がはん濫し、家屋浸水等の被害を生じるおそれがある水位：避難勧告の発令判断の目安となる水位
- 危険水位：避難準備情報の発令判断の目安となる水位
- 特別警戒水位：水防団の出動の目安となる水位
- 警戒水位：水防団が出動に備え、待機する水位
- 通報水位：水防団が出動に備え、待機する水位

土砂災害について

土砂災害

災害

害

風水害

風の強さと警戒の目安

気象庁では、風の強さを「やや強い風」「強い風」「非常に強い風」「猛烈な風」の4段階に分類しており、高松地方気象台は平均風速が20mを超えると予想される場合に暴風警報を発表します。また、発達した積乱雲の下では竜巻やダウンバーストによる突風なども発生する可能性がありますので注意してください。

やや強い風

10~15m/秒の風

風に向かって歩きにくくなる。樹木全体が揺れ始める。



強い風

15~20m/秒の風

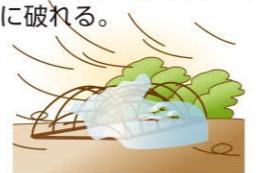
風に向かって歩けなくなる。屋根瓦等がはがれることがある。



非常に強い風

20~30m/秒の風

何かにつかまっていると立っていられない。ビニールハウスが広範囲に破れる。



猛烈な風

30m/秒以上の風

屋外での行動は極めて危険。建物でも倒壊するものがある。



ため池決壩

ため池は、全国に21万ヶ所存在しており、瀬戸内地域にはその内の6割が存在しています。三木町にも貯水量10万トンを超える16ヶ所のため池が存在します。自然災害等の要因により、ため池が決壩した場合、ため池周辺に大量の水や土砂が濁流となって瞬時に押し寄せ、多大な被害をもたらすことがあります。

ため池決壩の起こり方とその被害

1 南海トラフ地震や直下型地震で、堤防が破損する



地震同様に、大雨の際にも堤防が決壩するおそれがあります。

2 破損した堤防が、貯水に耐え切れず「決壩」



ため池決壩による被害

- 大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- 建物や車は押し流されます。
- 道路や住宅地、田畠は土砂に埋まります。

決壩から身を守る

地震、大雨の情報に注意 / ため池周辺に異変を見つけた時はすぐに町役場へ連絡
ため池の下流は避ける / 浸水被害の区域から横に逸れるように避難
高い場所に避難 / 地形の低い場所を避けて高い場所へ



土砂災害の種類と前兆現象

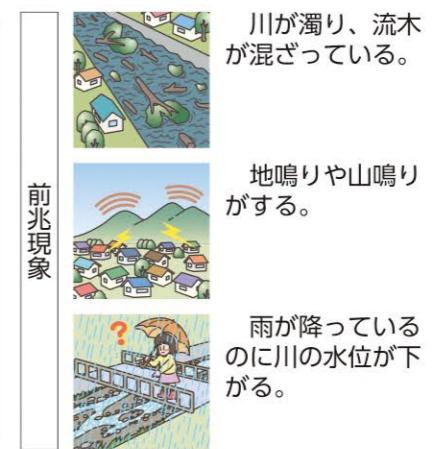
土砂災害は大きな破壊力を持つ災害ですが、発生時刻を正確に予測することが難しい現象です。土砂災害の危険箇所や特徴、前兆現象を確認して、土砂災害の危険を察知したら速やかに避難してください。

がけ崩れ



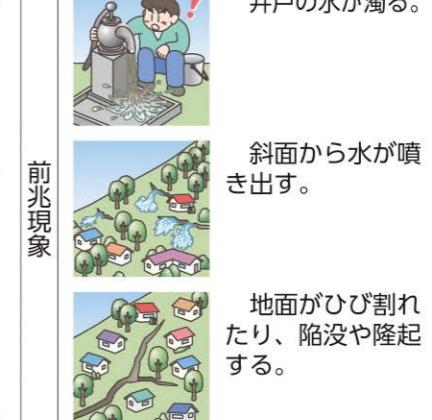
土石流

渓流の沢筋や谷筋から水を含んだ大量の土砂や巨大な石が一気に流れています。



地すべり

斜面の一部がひび割れて、ズルズルとすべり落ちていきます。がけ崩れにも似ていますが緩い斜面でも発生します。



- ①警察または消防署に連絡する。
- ②町役場に連絡する。
- ③土砂災害危険箇所等の外に避難する。
- ④避難所に避難する。

避難

避難を開始するタイミング

あなたが避難しようと思ったとき、外は大雨などで「外に出たくない」と思われる状況になっていることもあります。しかし身を守るために、早めの避難（自主避難）が大切です。危険を察知したら速やかに避難しましょう。

雨の降り方が異常だ



山の様子がおかしい



土砂災害警戒情報が発表された



避難勧告等が発令された



避難準備情報・避難勧告・避難指示とは…

災害時に、町役場から町民の皆様に「避難指示」または「避難勧告」を発令する場合があります。これらの違いをあらかじめ理解しておくことが「自らの命を守ることにつながります。

種類	発令等の内容	町民の皆様がとるべき行動
避難指示	住民に対して避難勧告よりも強く避難を求めるものです。避難勧告よりも急を要する場合や被害が出る危険性が非常に高まった場合に発令します。	避難をしていない方は大至急避難してください。避難することが困難な場合は、鉄筋コンクリート等の堅固な建物の2階以上に避難するなど身を守る最低限の行動をしてください。
避難勧告	災害によって被害が予想される地域の住民に対して避難を勧めるものです。	発令対象地域の方は、避難所への避難行動を開始してください。
避難準備情報	住民に対して避難準備を呼び掛けるとともに、高齢者や障がい者などの災害時要配慮者に対して、早めの段階での避難行動を開始することを求めるものです。	発令対象地域で、「避難に時間が必要な方」「避難に際して介助が必要な方」は、家族や地域の方と協力して避難行動を開始してください。

避難にあたっての注意事項

避難所に到着するまでには多くの危険が潜んでいます。避難にあたっては、まず正確な情報を入手してください。

そして、できる限り危険な場所を避け、近所の方と協力して避難してください。

動きやすい格好で、2人以上で避難する

避難の際は動きやすい格好で、2人以上で行動してください。さぐり棒などがあると転落を防げ安全です。



近所のお年寄りなどに声をかけて避難する

お年寄りや子供、病気の人など、早期の避難が必要な人たちの避難に協力してください。



河川や用水路には近づかない

水位が急激に変わることがあるので、河川や用水路などを避けて避難してください。



できるだけ昼間に避難する

災害は夜間でも発生しますが、夜間は周囲の状況が確認しにくく大変危険です。できるだけ昼間に避難してください。



正しい情報を入手しよう

防災情報は主に以下のメール配信サービスやホームページから入手できます。大雨が予想される時などに最新の情報を入手し、適切な避難行動をとりましょう。

防災情報の入手

平常時にメール配信サービスは登録を、ホームページは「お気に入り」に登録しておきましょう。

三木町防災行政メール

自然災害情報や火災情報等を発信するシステムです。災害等の緊急情報をいち早く町民の皆様へ伝達します。

下記アドレスに空メールを送信、またはQRコードを読み取り、案内に従って登録してください。

■メールアドレス
miki-town@raiden.ktaiwork.jp



香川県防災情報メール

香川県内の避難情報、気象警報・注意報等の防災情報を配信するサービスです。登録は下記アドレスに接続、またはQRコードを読み取り、案内に従って登録してください。

■URL
<http://info.bousai-kagawa.jp/>



かがわ防災Webポータル

香川県内のさまざまな災害情報や防災情報が提供されています。

■URL
<http://www.bousai-kagawa.jp/>



気象庁高松地方気象台

高松地方気象台が提供する香川県の防災気象情報が確認できます。

■URL
<http://www.jma-net.go.jp/takamatsu/>



川の防災情報

国土交通省が提供する河川のリアルタイム水位・雨量や気象情報が確認できます。

■URL
<http://www.river.go.jp/>
■携帯版
<http://i.river.go.jp/>



防災情報提供センター

国土交通省、気象庁が提供する全国の災害情報や気象情報が確認できます。

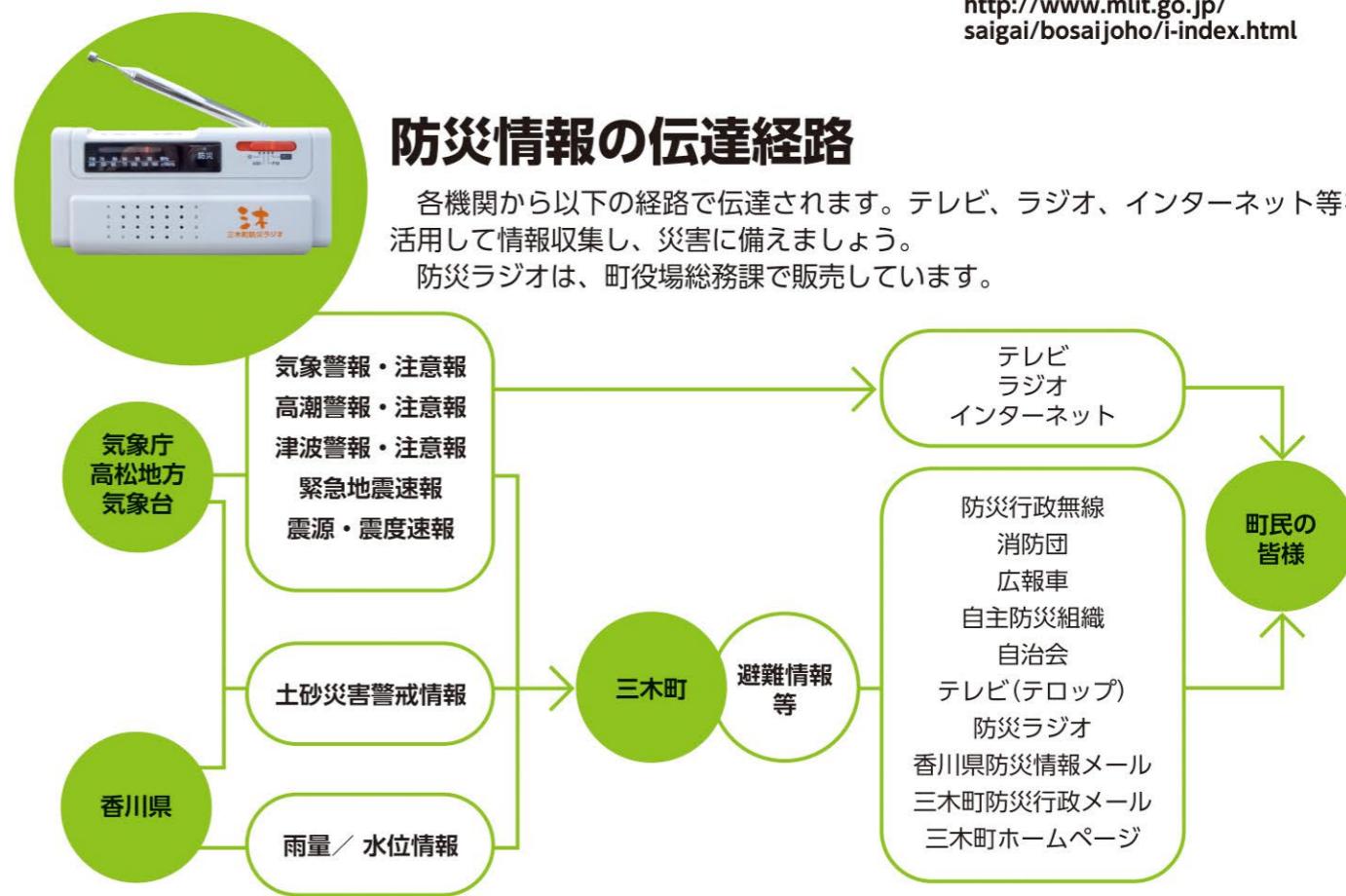
■URL
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/index.html>
■携帯版
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>



防災情報の伝達経路

各機関から以下の経路で伝達されます。テレビ、ラジオ、インターネット等を活用して情報収集し、災害に備えましょう。

防災ラジオは、町役場総務課で販売しています。



自主防災に取り組もう

地域は自分たちで守る

大規模な災害が起きたときは、電話や電気、ガス、水道などのライフラインの寸断や道路交通網の乱れにより、公的機関の支援が遅れることが想定されます。このようなときこそ隣近所の自主防災組織の活動が力を発揮します。地域の住民がともに助け合い、協力し合うことで被害を最小限にできるのです。地域のみんなで自主防災組織に協力しましょう。



平常時の主な自主防災活動

防災知識の普及



地域の防災マップの作成、防災講習会、防災映画上映会の開催、地域のお祭りや運動会などでの防災イベントの実施など。

防災資材等の整備・管理



ヘルメット、消火器、担架、ハンマー、バールなどの作業道具、非常時の食品、救急医薬品等の防災資材や備蓄品の整備や管理など。

防災巡回及び防災点検



各家庭の防災用品の点検、防災倉庫の備品や消防水利の確認、燃えやすいものの放置状況、ブロック塀や石垣看板、自動販売機などの倒れやすいものの点検など。

防災訓練の実施・参加



初期消火訓練、避難誘導訓練、応急救護訓練、情報収集・伝達訓練、避難所開設・運営訓練、炊き出し訓練の実施・参加など。

災害時の主な自主防災活動

情報の収集・伝達活動



町役場などと連絡を取り合い、災害に関する正しい情報を住民に伝達する。

初期消火活動



出火防止のための活動や消火器、消防水利の確保、バケツリレーなどによる初期消火活動など。

安否確認



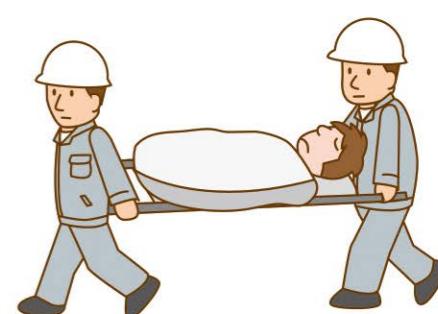
近所で声を掛け合い、お互いの安否確認をしながら避難所まで避難する。安否確認の結果は、自主防災組織ごとにまとめて報告する。

救出活動



負傷者や倒壊した家屋などの下敷きになった人たちの救出・救助活動など。

医療救護活動



負傷者の応急手当、救護所への搬送など。

避難所の開設・運営



避難所の開設、避難所施設の状況確認、避難者誘導・受け入れ、避難者の居住場所と業務の割り振りなど。

食料・物資関係



備蓄食料や救援物資の運搬及び配布、炊き出しなど。

誘導する際のポイント

あなたの助けを待っている人がいます

災害時の主な誘導方法

「高齢者や傷病者」の場合



- できるだけ複数の支援者で対応できるようにしましょう。
- 担架などを使用し、緊急の場合はおぶって避難しましょう。

「目の不自由な人」の場合



- 初めに声をかけて、そばにいることを相手に知らせましょう。
- 誘導するときは手を引くのではなく、こちらの肩やひじを持ってもらいましょう。

「耳が不自由な人」の場合



- 筆談や身振り手振りなどでコミュニケーションを取りましょう。
- ゆっくり話しかけて、相手に口の動きを読み込んでもらいましょう。

「知的障がいなどがある人」の場合



- 初めに優しく声をかけるなどして相手を安心させましょう。
- 相手の気持ちを落ち着かせてから安全な場所に誘導しましょう。

「車いすを利用している人」の場合



- 階段などでは必ず複数の支援者で車いすを持ち上げて援助しましょう。
- 車いすでの移動が困難な場合はおぶって避難しましょう。

「日本語ができない人」の場合



- 身振りや手振りなどでコミュニケーションを取りましょう。
- 日本語でもよいので積極的に支援の意思を相手に伝えましょう。

ヘルプ支援カードのご活用を!!

避難等をするときに、手助けが必要な方は、事前に、必要な手助けの内容などを書いておき、手伝ってくれる人に伝えられるように備えましょう。カードは町役場健康福祉課福祉係（087-891-3304）などで配付しています。

※その他の記入項目は「氏名・生年月日・住所・連絡先・緊急連絡先・関わりのある人・かかりつけの病院・いつも飲んでいる薬・持病・装具等」がありますが、自分に必要なもののみ記入しておきましょう。



避難所生活での注意点

避難所での生活は不自由なことです。慣れない環境でストレスや疲労から体調を崩してしまうこともあり、健康管理には十分な注意が必要です。また、避難所では被災者同士が共同生活を送ることになりますので、マナーとルールを守り、みんなで支え合いましょう。



避難所生活のポイント

共同生活

- 共同生活のルールを定めて、きちんと守る。
- 自分の所持品には名前を記入し、1か所にまとめて管理する。
- 共助（助け合い）の心でのぞむ。

要配慮者・プライバシー

- 高齢者や傷病者などを優先する。
- 車いすでも通行できるようバリアフリーに配慮する。
- 着替えの為の別室や間仕切りなどでプライバシーを確保する。

生活環境

- ゴミは指定の場所へ出すなど環境面に配慮する。
- トイレはきれいに使う。
- 清掃などは協力して定期的に行い、清潔な状態を保つ。

妊産婦・乳幼児・子ども

- 妊産婦や乳幼児の健康状態をこまめにチェックできる体制をつくる。
- 会話やスキンシップを通じて子どもに安心感を与える。

健康管理

- 夏場は熱中症にならないように注意する。
- 冬場はマスクなどでかぜやインフルエンザなどの感染を防ぐ。
- 夏冬を通じて食中毒に注意する。
- できるだけ体を動かして運動不足を防ぐ。

ペット

- ケージやほかの人・動物に慣れさせておくなど日ごろのしつけを適切に行う。
- ケージやペットフードなどを非常持ち出し品として用意する。
- ペットのえさやり、排泄物の清掃など責任を持って行う。

在宅避難生活のすすめ

避難所生活では、プライバシーを確保するのは困難です。避難所生活でのストレスなどを考慮すると、可能な限り住み慣れた自宅での生活を続けることができるよう、各家庭で災害に対する備えを事前に行い、災害発生後は住民同士で協力し合うことが大切です。



写真：一般財団法人 消防科学総合センター

心肺蘇生のしかた

いざと
いうときに
あわてない
ために

事前の
備え

AEDの使い方

AED(自動体外式除細動器)が到着したら、傷病者に装着してAEDの指示に従って操作してください。現場にAEDがある場合は、AEDを優先的に使用しましょう。



- 1 反応があるかを確認する
反応がなければ大きな声で助けを求める。その際近くの人に119番通報とAEDの手配を依頼する。
- 2 反応がないときは、呼吸を確認する
傷病者の胸と腹部を見て、上下していれば「呼吸あり」動いていないければ「呼吸停止」(心肺停止)と判断して、すぐに胸骨圧迫を行う。

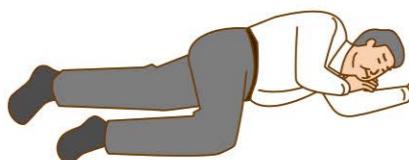
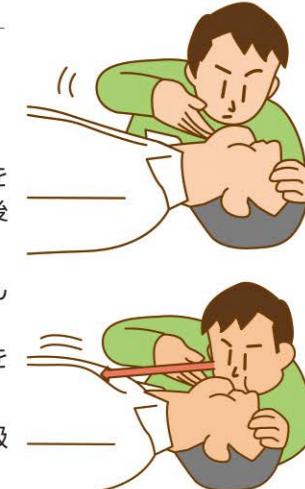


突然の災害では、どういう事態が発生するか誰にも予測できません。意識をなくして倒れている人やけがをしている人がいても、救急車がすぐにつくとは限りません。そのような一刻を争うときに重要なのが事前の知識と備えです。すぐに対処ができるように町役場や自主防災組織などで開催している応急手当講習に参加して、応急手当の方法を覚えておきましょう。

- 3 胸骨圧迫を行う
 - ①傷病者の横に両ひざ立になる。
 - ②胸の真ん中に片方の手のひらをおき、もう一方の手をその上に重ねる。
 - ③ひじを伸ばし、少なくとも胸が5センチ程度沈み込むよう、少なくとも1分間に100回の速さで連続30回圧迫する。
- 4 人工呼吸 ※省略してもよい
 - ①片方の手のひらを額に、もう片方の指先を傷病者のあご先に当てて持ち上げ、頭を後ろにそらす。
 - ②気道を確保したまま傷病者の鼻をつまんで、口を大きく開けて傷病者の口を覆い、約1秒かけて胸の上がりが見える程度息を吹き込む。

※人工呼吸がためらわれる場合は、人口呼吸を省略して胸骨圧迫を行う。

※出血や傷があると感染の危険があるので、感染防護具があれば使用する。



※胸骨圧迫30回、人工呼吸2回を1セットとして、これをAEDまたは救急隊が来るまで繰り返す。

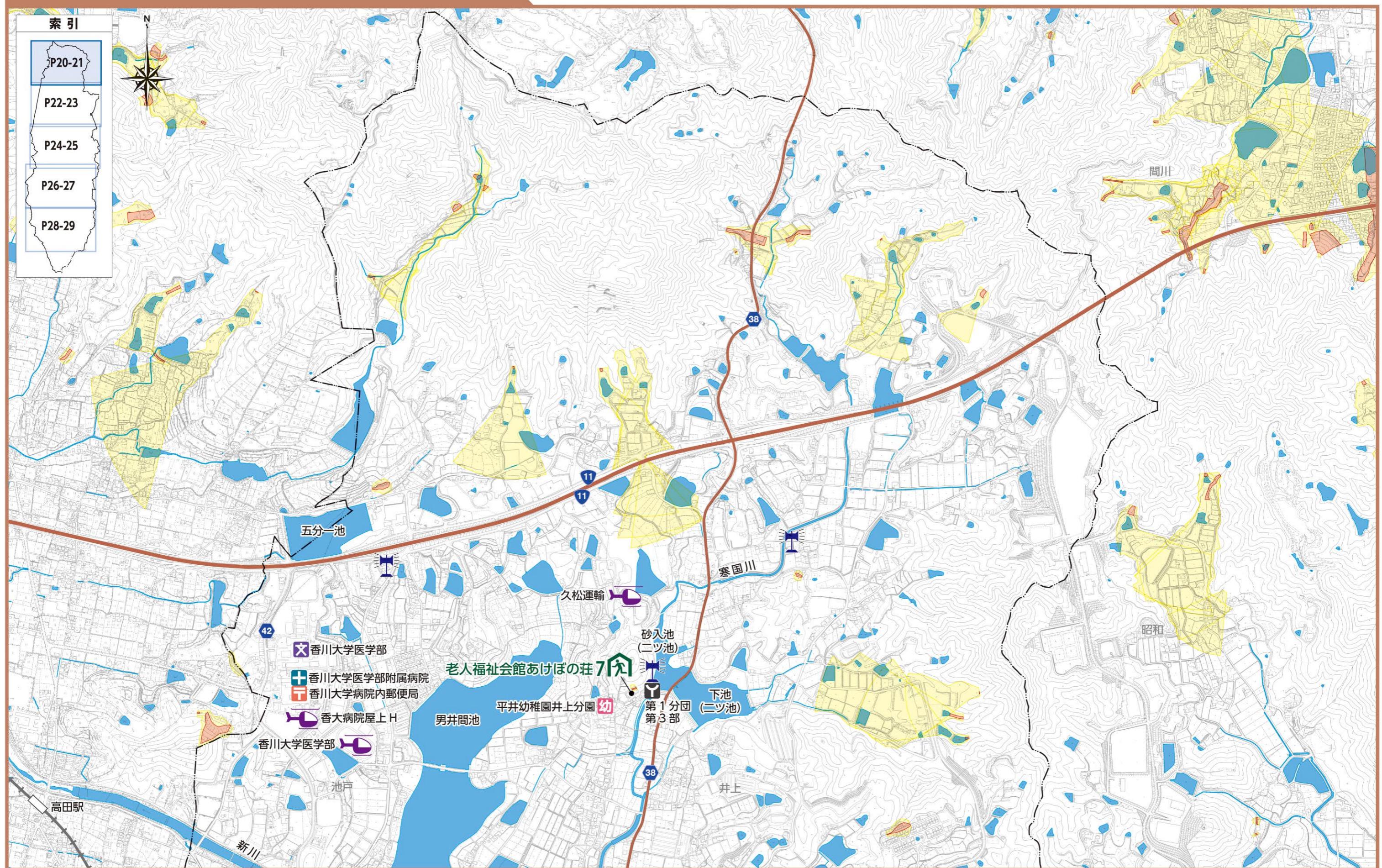
応急手当のポイント

- | | |
|---|---|
| <p>出血</p> | <p>やけど</p> |
| <ol style="list-style-type: none"> ①出血部分にガーゼやタオルを当て、その上から手で圧迫する。 ②傷口は心臓より高い位置にする。 <p>※感染を防ぐため、ビニール手袋やビニール袋を手袋の代わりに使用するのが望ましい。</p> | <ol style="list-style-type: none"> ①冷水で冷やす。 ②衣服の上からやけどをした場合は、無理に脱がさずにそのまま冷やす。 ③水ぶくれは破らない。 ④冷やした後は、消毒ガーゼやきれいな布で保護し医療機関へ。 |
| <p>骨折</p> | <p>ねんざ</p> |
| <ol style="list-style-type: none"> ①折れた部分に添え木を当てて固定し、医療機関へ。 ②適当な添え木がなければ、板、筒状にした週刊誌、傘、段ボールなど身近にあるものを代用する。 | <ol style="list-style-type: none"> ①患部を冷やす。 ②靴を履いたままの場合は、上から三角巾や布で固定する。 |

土砂災害ハザードマップ

この地図は、香川県が指定した「土砂災害警戒区域」の範囲などを示し、土砂災害への注意に関する情報を記載したものです。

土砂災害警戒区域・
特別警戒区域
土砂災害警戒区域
出典：土砂災害警戒区域・特別警戒区域（平成28年1月現在 香川県）

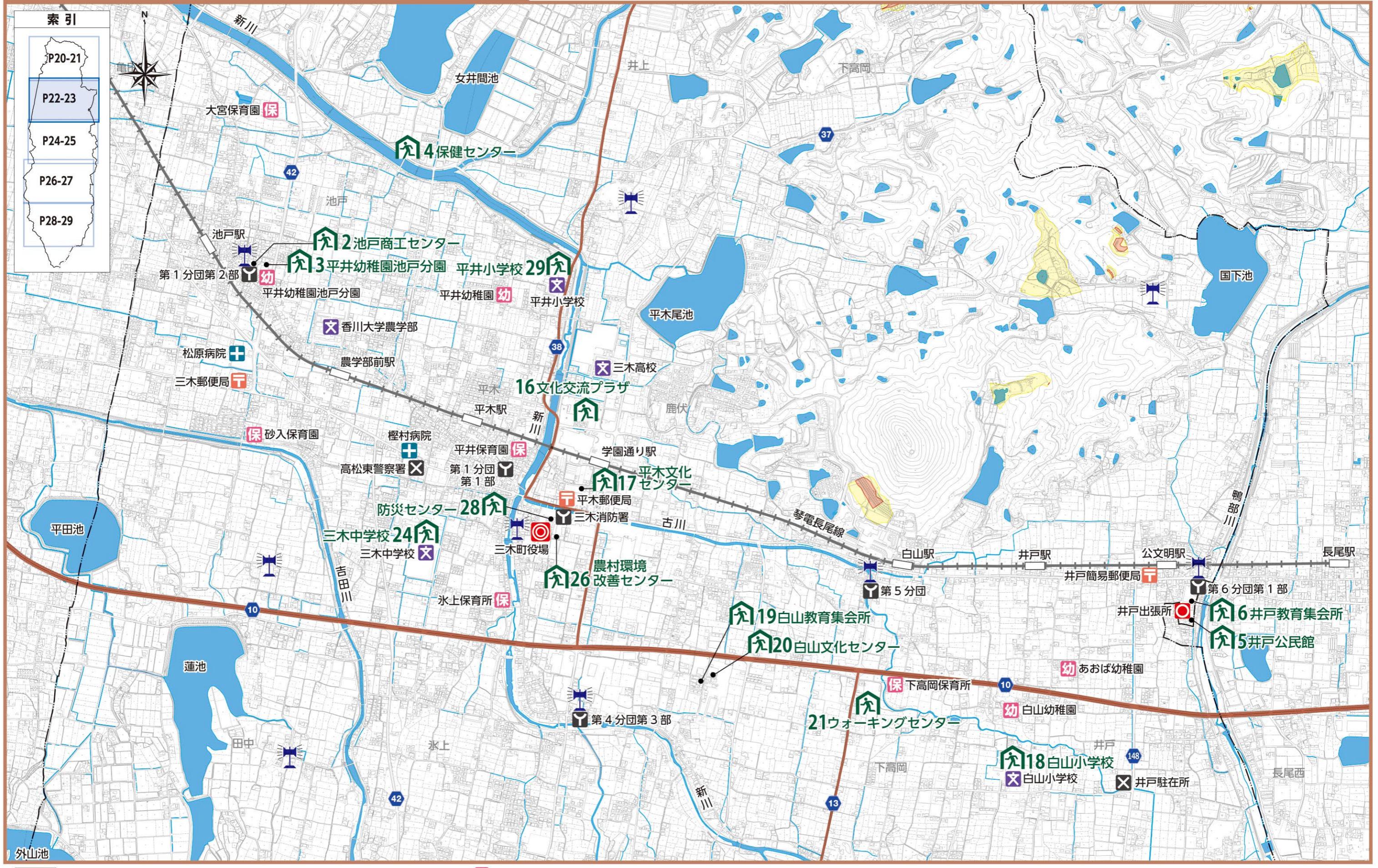


土砂災害ハザードマップ

この地図は、香川県が指定した「土砂災害警戒区域」の範囲などを示し、土砂災害への注意に関する情報を記載したものです。

土砂災害警戒区域・
特別警戒区域
土砂災害警戒区域
土砂災害警戒区域

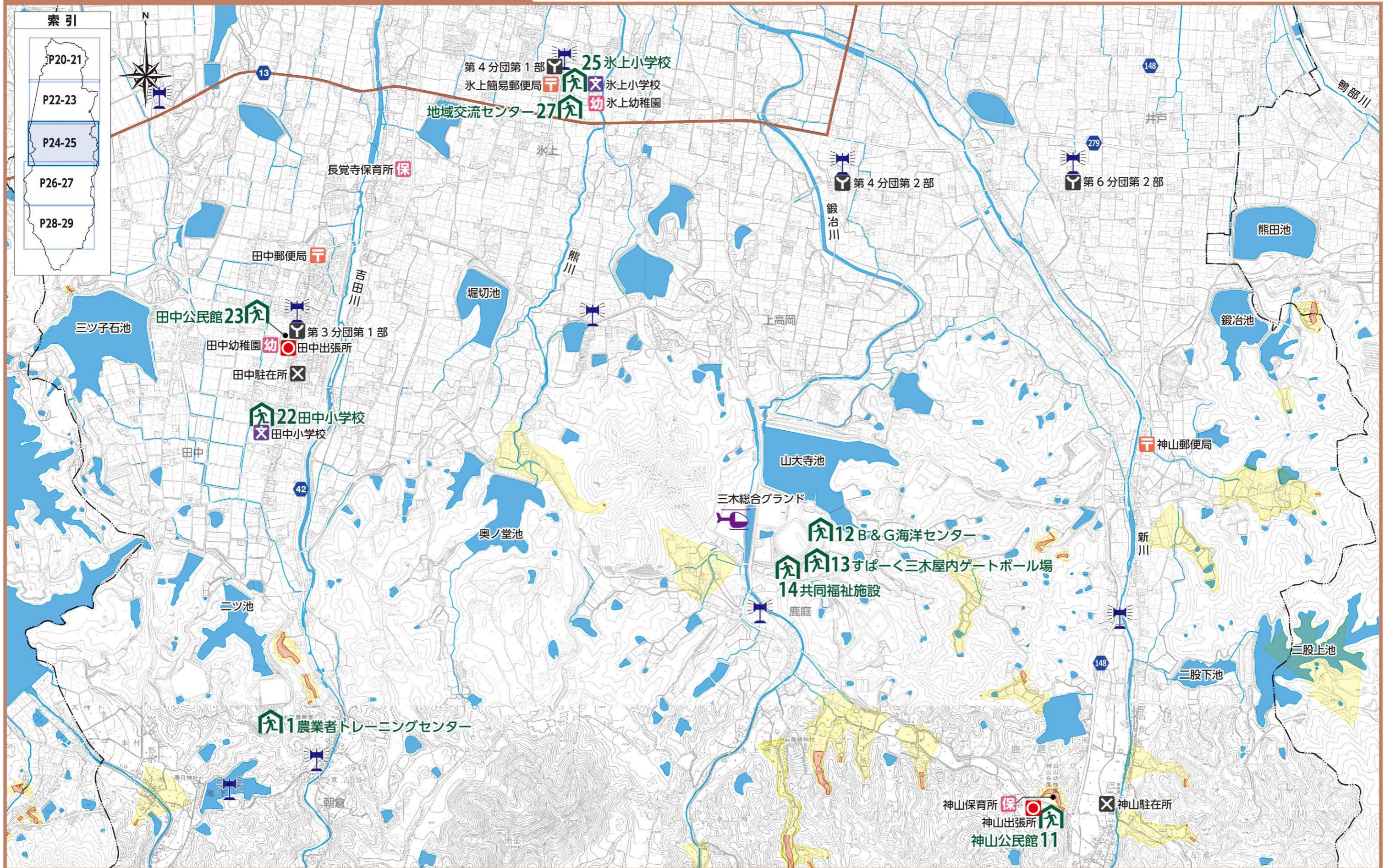
出典：土砂災害警戒区域・特別警戒区域（平成28年1月現在 香川県）



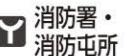
土砂災害ハザードマップ

この地図は、香川県が指定した「土砂災害警戒区域」の範囲などを示し、土砂災害への注意に関する情報を記載したものです。

土砂災害警戒区域・
特別警戒区域
土砂災害警戒区域
出典：土砂災害警戒区域・特別警戒区域（平成28年1月現在 香川県）



凡例



緊急輸送路

1 : 14,000

0 100 500m

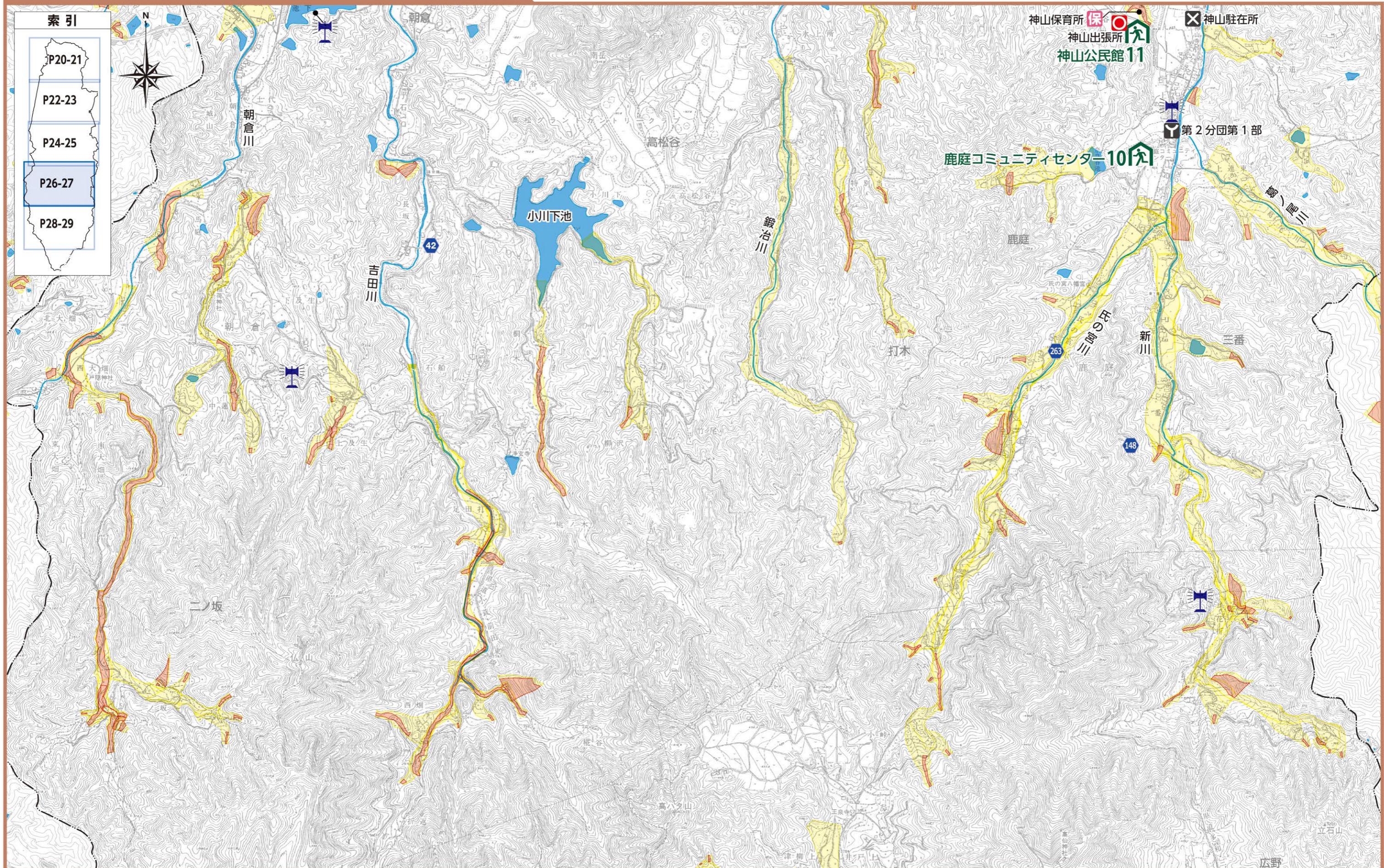
三木町ハザードマップ

25

土砂災害ハザードマップ

この地図は、香川県が指定した「土砂災害警戒区域」の範囲などを示し、土砂災害への注意に関する情報を記載したものです。

土砂災害警戒区域・
特別警戒区域
土砂災害警戒区域
出典：土砂災害警戒区域・特別警戒区域（平成28年1月現在 香川県）



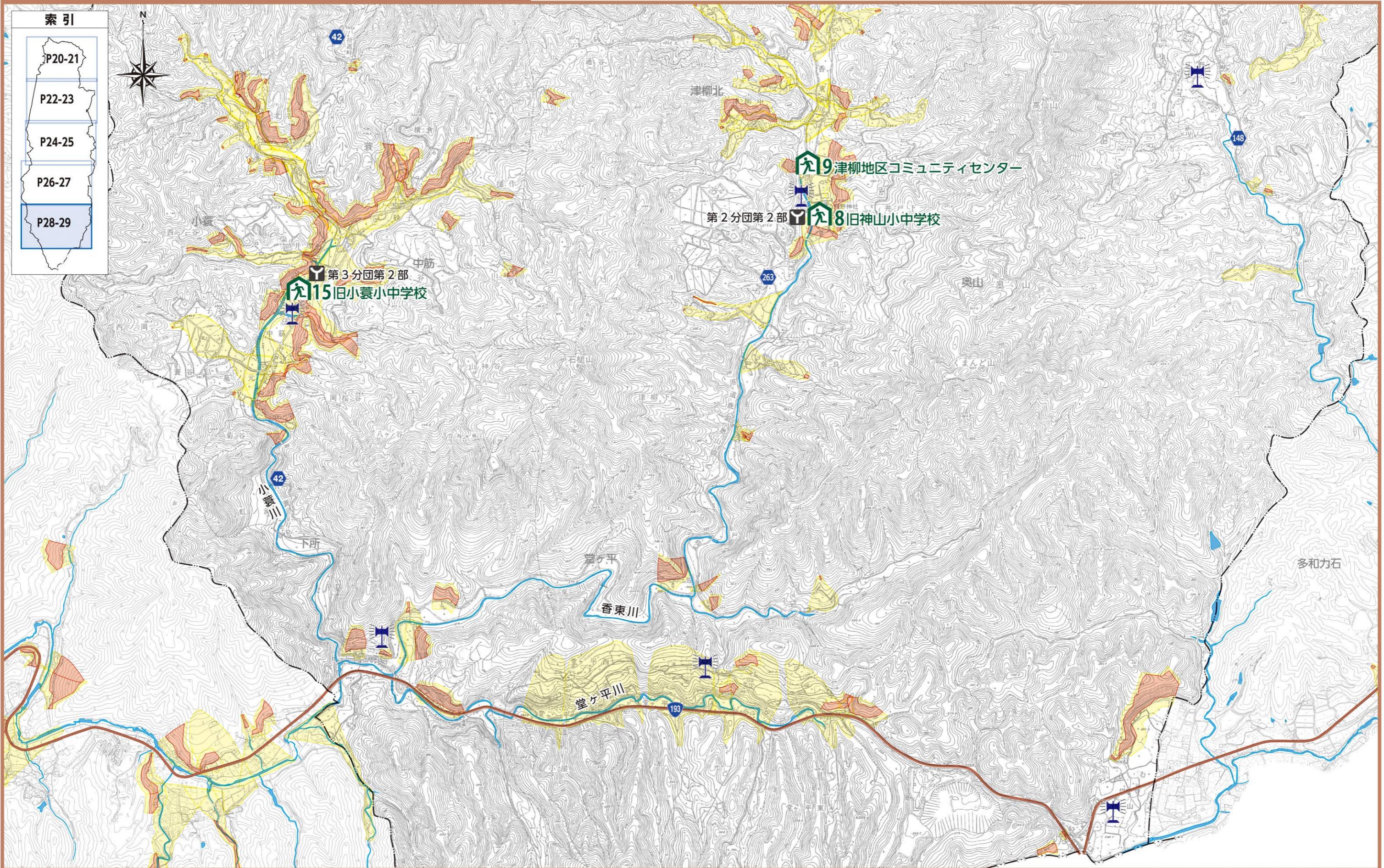
土砂災害ハザードマップ

この地図は、香川県が指定した「土砂災害警戒区域」の範囲などを示し、土砂災害への注意に関する情報を記載したものです。

土砂災害警戒区域・
特別警戒区域

土砂災害特別警戒区域
土砂災害警戒区域

出典：土砂災害警戒区域・特別警戒区域（平成28年1月現在 香川県）



凡例



消防署・
消防屯所



救急病院



学校



幼稚園
保育所(園)



出張所



防災
行政無線

緊急輸送路

新川・鴨部川洪水ハザードマップ

この地図は、新川・鴨部川が大雨によってはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。想定を超える降雨や内水などの影響で川がはん濫した場合は、考慮に含まれていませんので、地図に示す浸水範囲以外でも浸水が起きたり、実際の浸水の深さが異なったりする場合があります。

想定の前提となる計画降雨：新川（新川流域2日総雨量345mm）、鴨部川（鴨部川流域1日総雨量387mm）

新川・鴨部川
浸水想定区域

浸水深 0.5m未満	浸水深 0.5m～1.0m未満	浸水深 1.0m～2.0m未満
浸水深 2.0m～5.0m未満	平成16年台風23号浸水区域	

出典：浸水深（平成18年 香川県）、平成16年台風23号浸水区域（平成19年 三木町）

地震

風水害

土砂災害

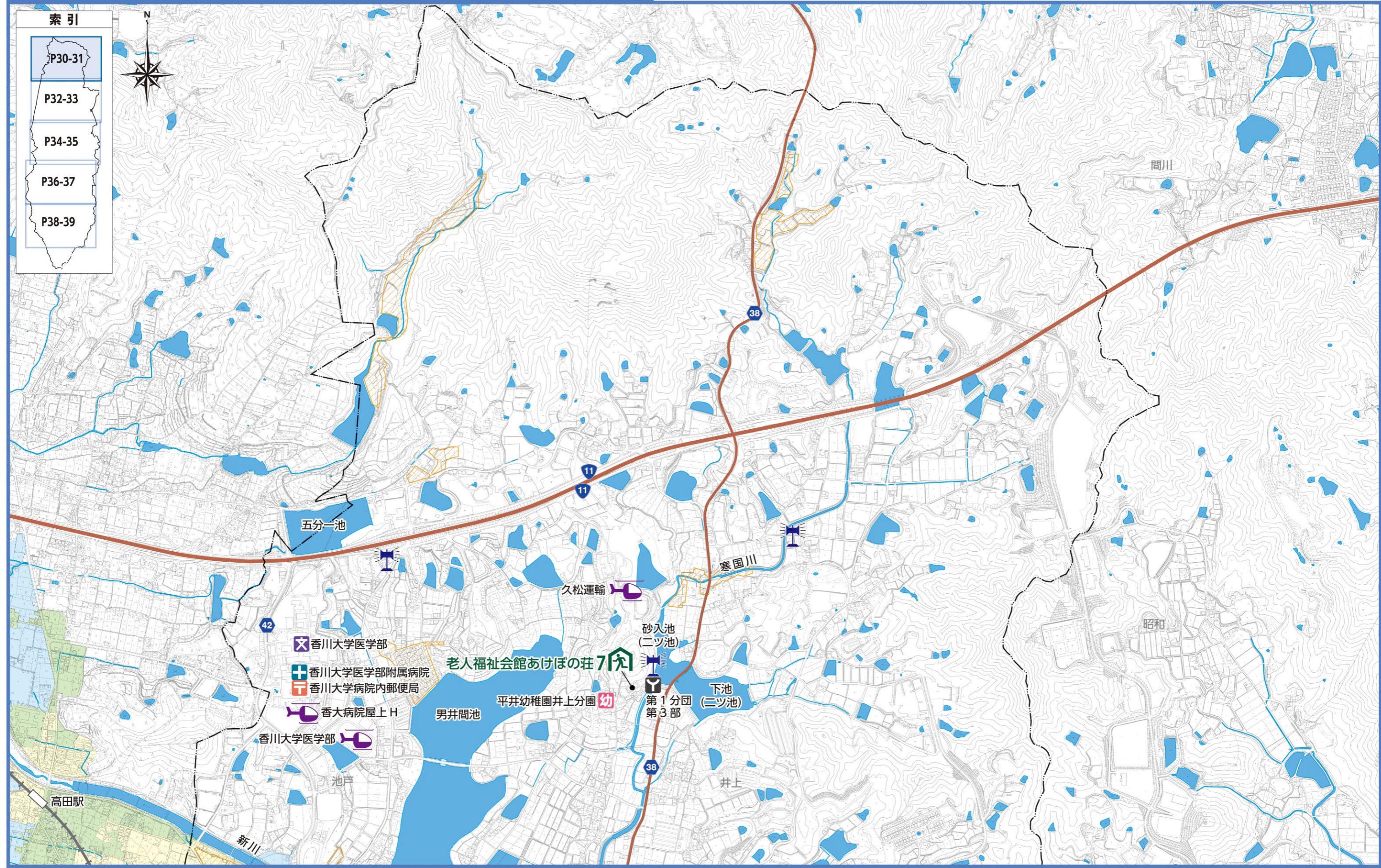
避難

自主防災

土砂災害ハザードマップ

洪水ハザードマップ

ため池ハザードマップ

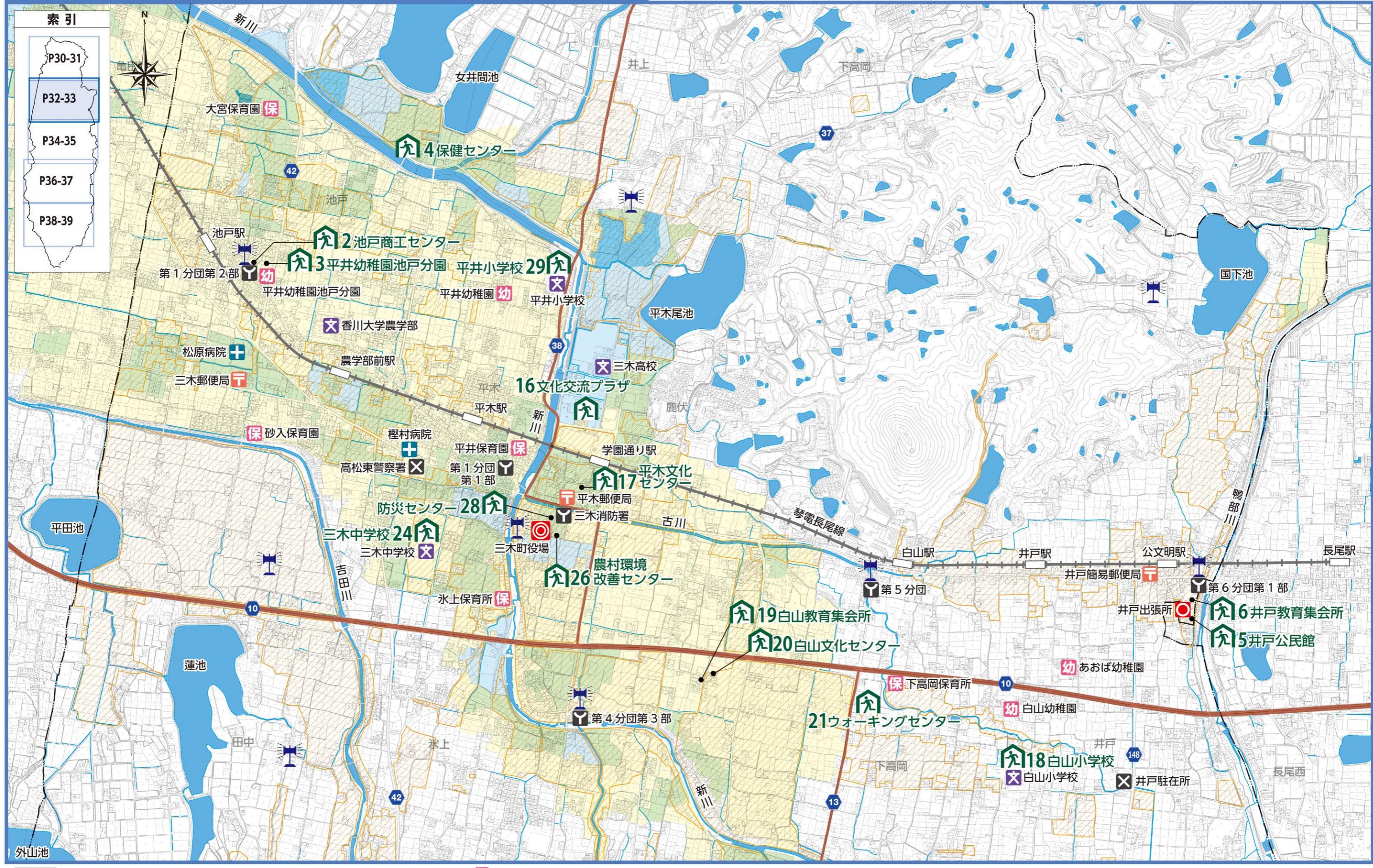


新川・鴨部川洪水ハザードマップ

この地図は、新川・鴨部川が大雨によってはんさした場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。想定を超える降雨や内水などの影響で川がはんさした場合は、考慮に含まれていませんので、地図に示す浸水範囲以外でも浸水が起きたり、実際の浸水の深さが異なったりする場合があります。
想定の前提となる計画降雨：新川（新川流域2日総雨量345mm）、鴨部川（鴨部川流域1日総雨量387mm）

新川・鴨部川 浸水想定区域	浸水深0.5m未満	浸水深0.5m~1.0m未満	浸水深1.0m~2.0m未満
	浸水深2.0m~5.0m未満	平成16年台風23号浸水区域	

出典：浸水深（平成18年 香川県）、平成16年台風23号浸水区域（平成19年 三木町）



凡例



消防署・
消防屯所

警察・駐在所

救急病院

郵便局

学校

幼稚園
保育所(園)

役場
出張所

臨時
ヘリポート

防災
行政無線

緊急輸送路

1:14,000

0 100 500m

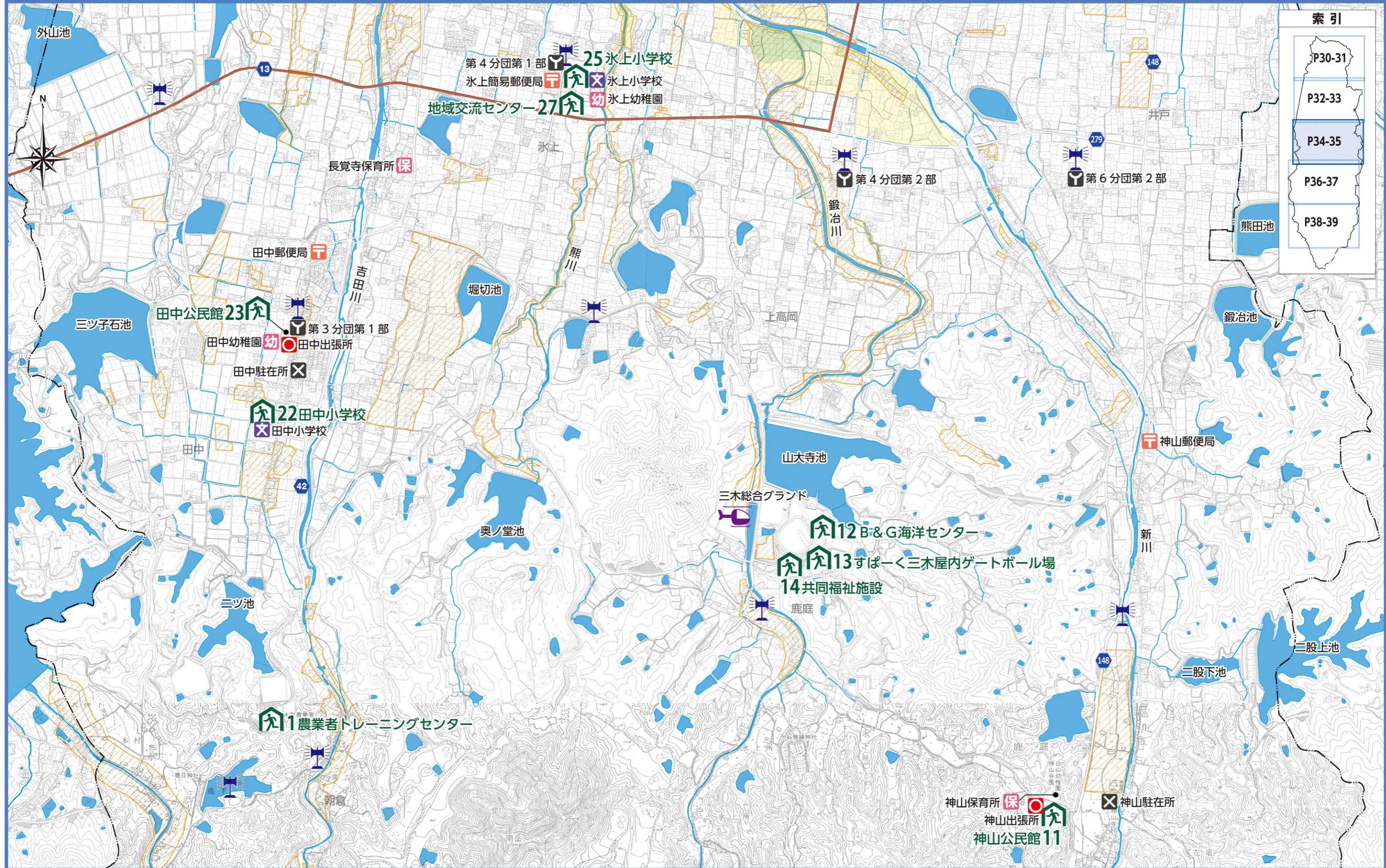
新川・鴨部川洪水ハザードマップ

この地図は、新川・鶴部川が大雨によってはん漫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
想定を超える降雨や内水などの影響で川がはん漫した場合は、考慮に含まれないませんが、地図に示す浸水範囲以外でも浸水が起きたり、実際の浸水の範囲が異なるたりする場合があります。
想定の前提となる計画降雨：新川（新川流域2日総雨量345mm）、
鶴部川（鶴部川流域1日総雨量387mm）

川・鴨部川
水想定区域

	浸水深 0.5m未満		浸水深 0.5m～1.0m未満
	浸水深 1.0m～2.0m未満		平成16年台風23号浸水区域

出典：浸水深（平成18年 香川県）、平成16年台風23号浸水区域（平成19年 三木町）



凡例

避難所

消防署 ·
消防處所

X 警察・駐

正所 救急

病院 鄂

局 文 学校

幼稚園
保育院(1)

役場

出張所

2

临时
ルート

防災
行政無

—緊

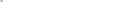
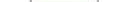
輸送路

1 : 14,000

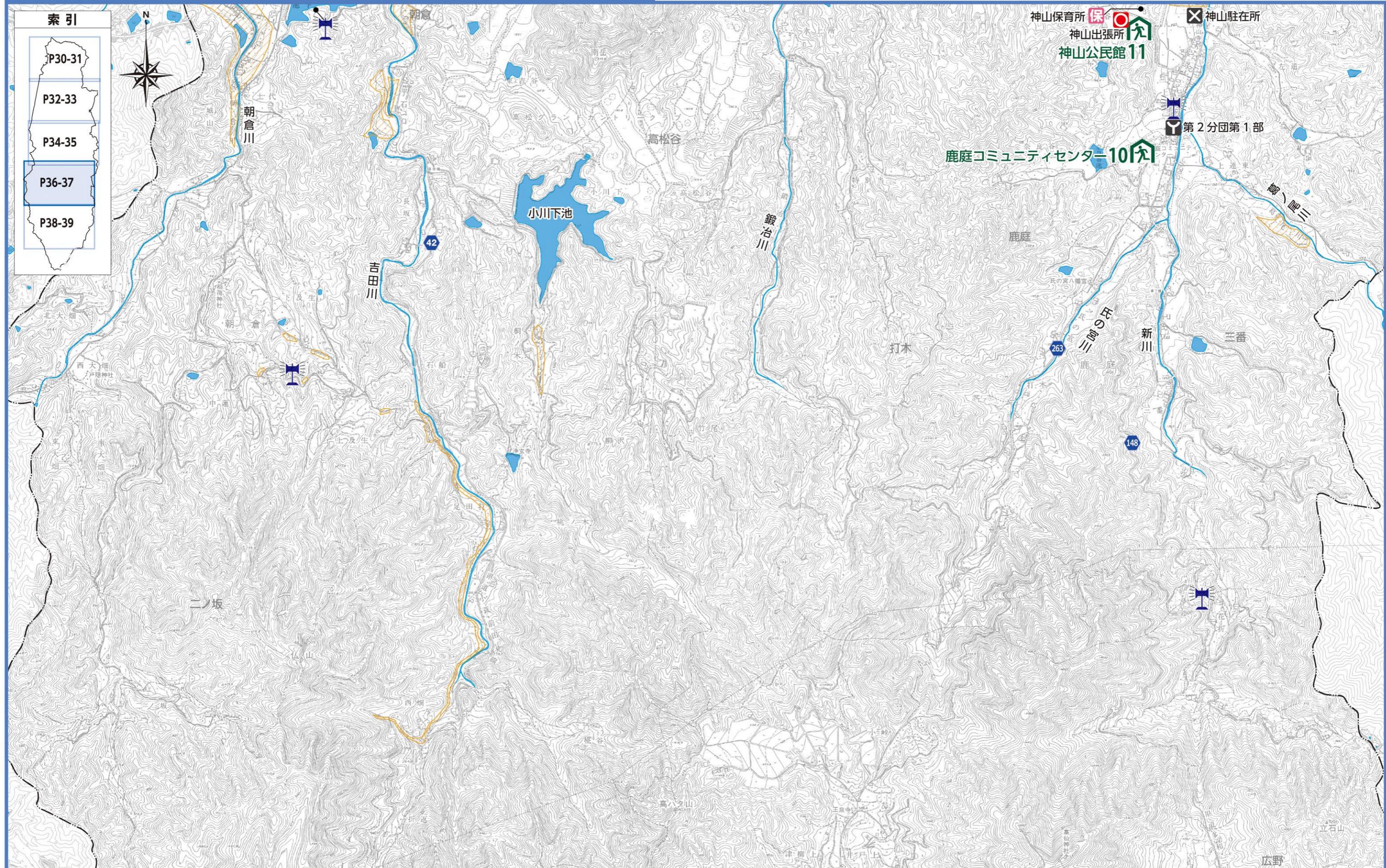
500m

新川・鴨部川洪水ハザードマップ

この地図は、新川・鶴部川が大雨によってはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。想定を超える降雨や内水などの影響で川がはん濫した場合は、考慮に含まれていませんので、地図に示す浸水範囲以外でも浸水が起きたり、実際の浸水の状況が異なることがあります。想定の前提となる計画降雨：新川（新川流域2日総雨量345mm）、鶴部川（鶴部川流域1日総雨量387mm）

新川・鶴部川 浸水想定区域	 浸水深 0.5m未満	 浸水深 0.5m～1.0m未満	 浸水深 1.0m～2.0m未満
	 浸水深 2.0m～5.0m未満	 平成16年台風23号浸水区域	

出典：浸水深（平成18年 香川県）、平成16年台風23号浸水区域（平成19年 三木町）



凡例

避難所

消防署・
消防出所

× 警察・駐在所

 救急病院

郵便局

学校

幼稚園
保育所(園)

役場 出張所

临时
ヘリポート

防災
行政無線

緊急輸送路

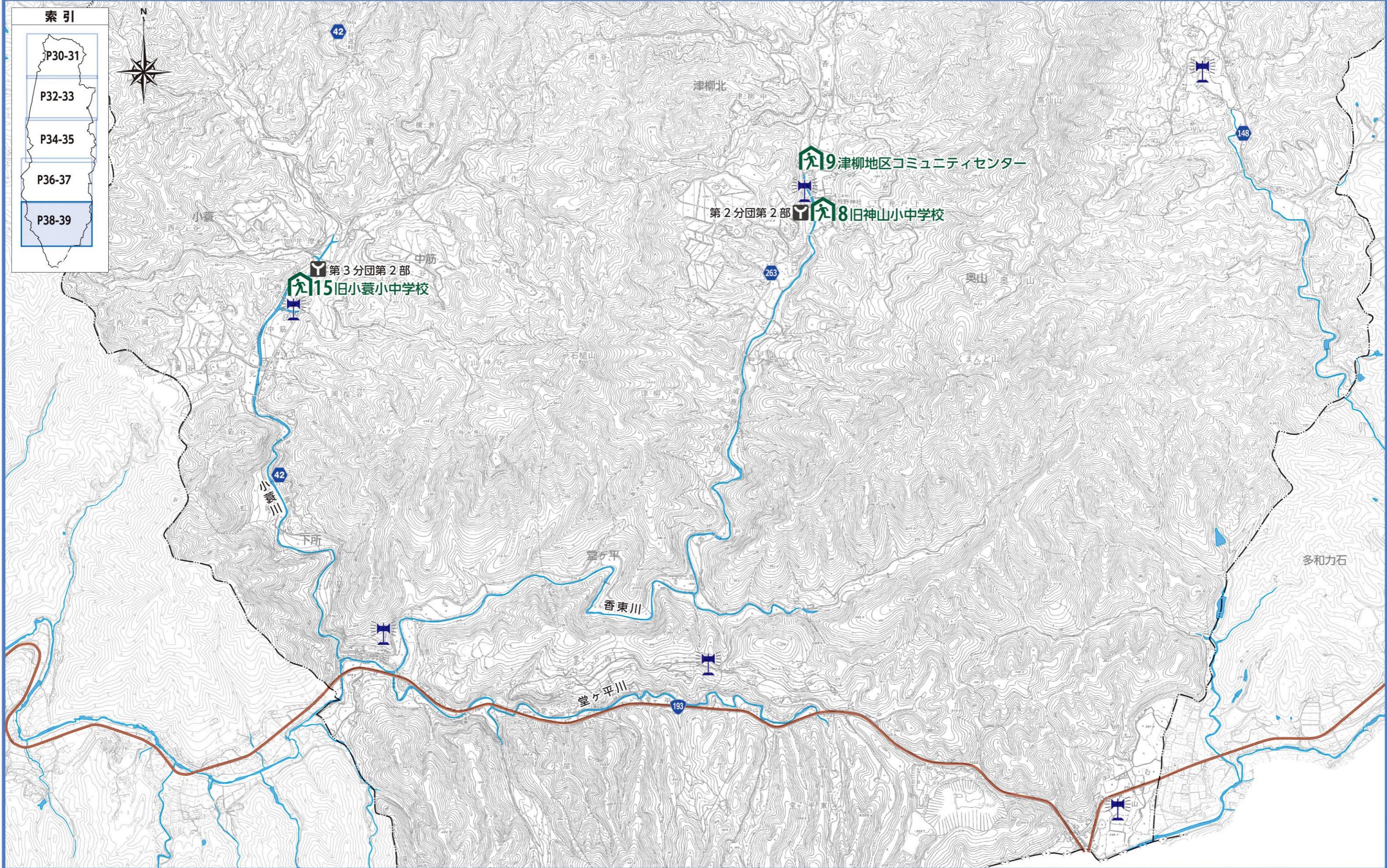
1 : 14,000

新川・鴨部川洪水ハザードマップ

この地図は、新川・鴨部川が大雨によってはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。想定を超える降雨や内水などの影響で川がはん濫した場合は、考慮に含まれていませんので、地図に示す浸水範囲以外でも浸水が起きたり、実際の浸水の深さが異なります。想定の前提となる計画降雨：新川（新川流域2日総雨量345mm）、鴨部川（鴨部川流域1日総雨量387mm）

新川・鴨部川 浸水想定区域	浸水深 0.5m未満	浸水深 0.5m～1.0m未満	浸水深 1.0m～2.0m未満
	浸水深 2.0m～5.0m未満	平成16年台風23号浸水区域	

出典：浸水深（平成18年 香川県）、平成16年台風23号浸水区域（平成19年 三木町）



凡例



避難所



消防署・
消防屯所



警察・駐在所



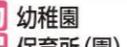
救急病院



郵便局



学校



幼稚園
保育所(園)



役場



出張所



臨時
ヘリポート



防災
行政無線

緊急輸送路

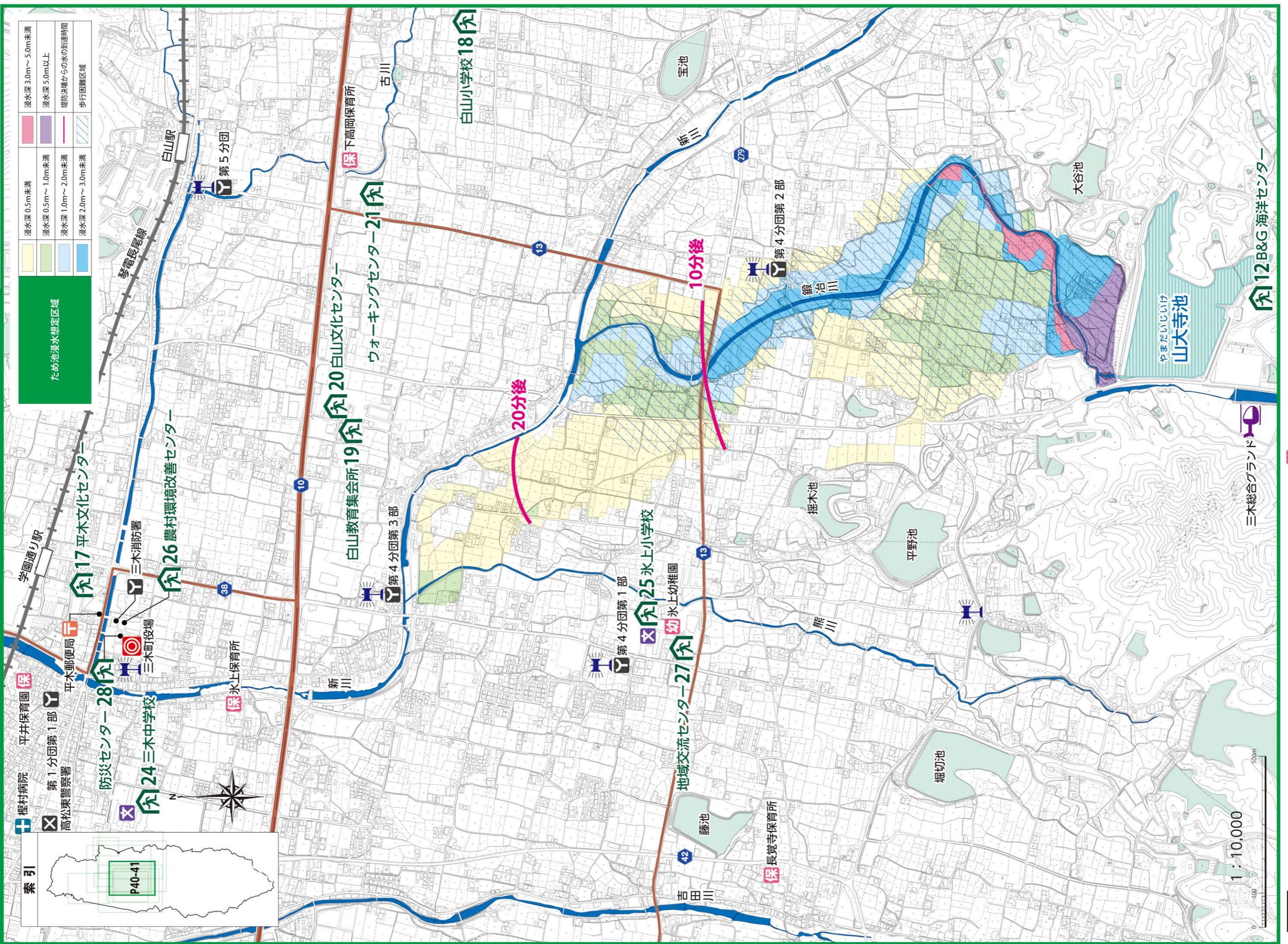
1 : 14,000

0 100 500m

ため池ハザードマップ〈山大寺池〉

この地図は、南海トラフ地震などによって、町内の農業用ため池の堤防が決壊し、全ての貯水が瞬時に流出した状況を想定しています。

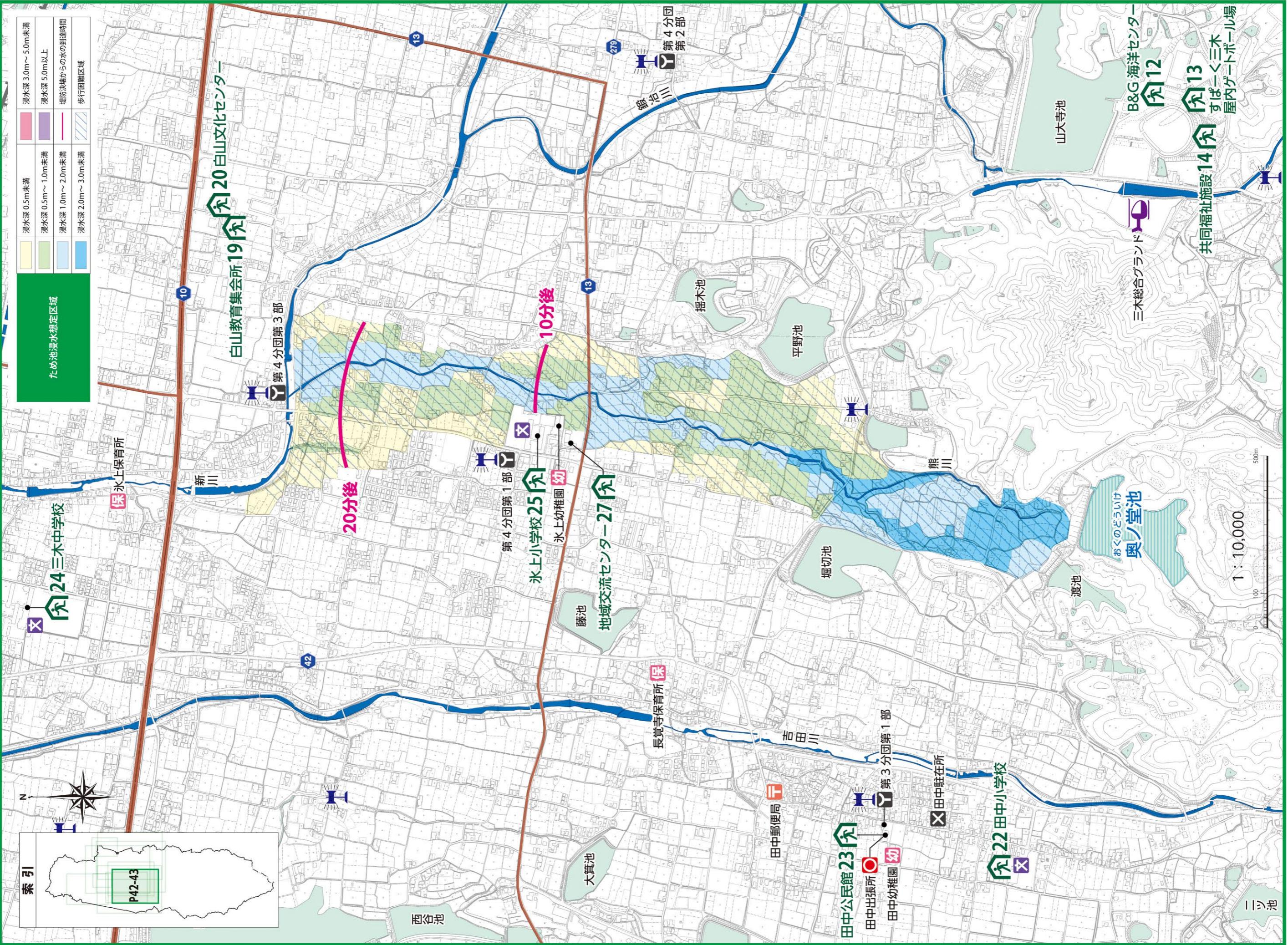
出典：浸水深（平成26年 三木畠）



ため池ハザードマップ〈奥ノ堂池〉

この地図は、南海トラフ地震などによって、町内の農業用ため池の堤防が決壊し、全ての貯水が瞬時に流出した状況を想定しています。

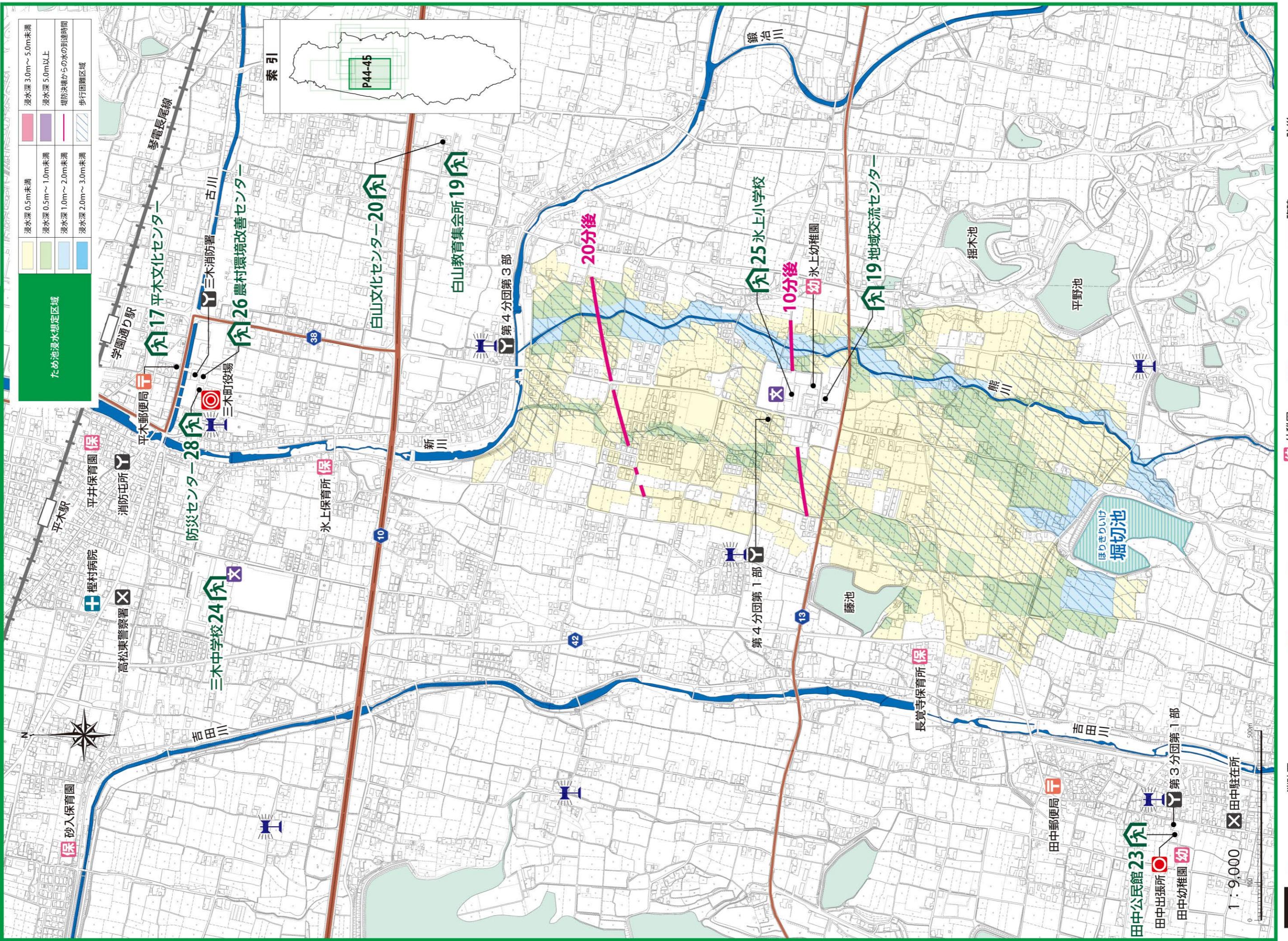
出典：浸水深（平成26年三木町）



ため池ハザードマップ〈堀切池〉

この地図は、南海トラフ地震などによって、町内の農業用ため池の堤防が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出した状況を想定しています。

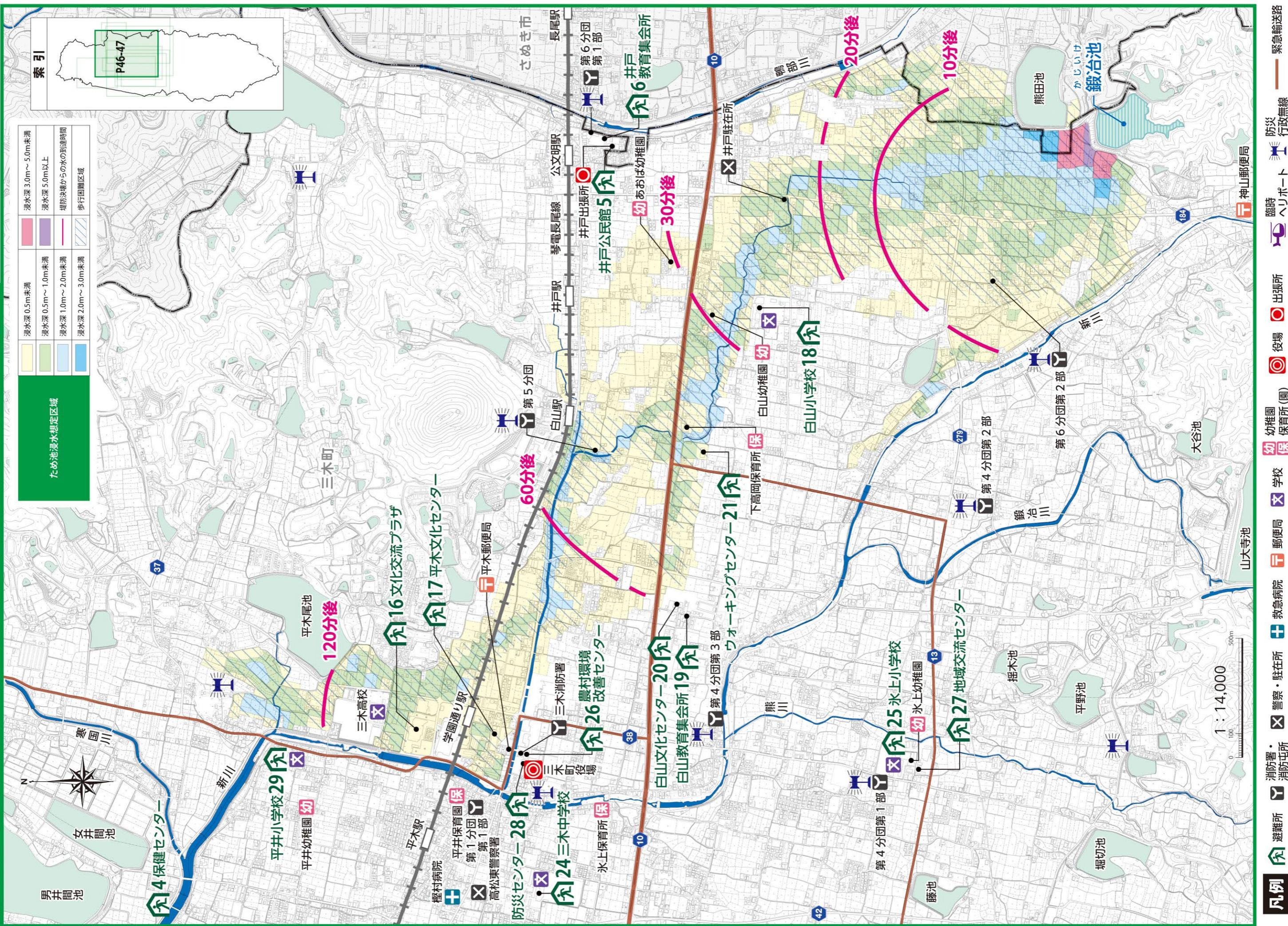
出典：浸水深（平成26年三木町）



ため池ハザードマップ〈金沢治池〉

この地図は、南海トラフ地震などによって、町内の農業用ため池の堤防が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出した状況を想定しています。

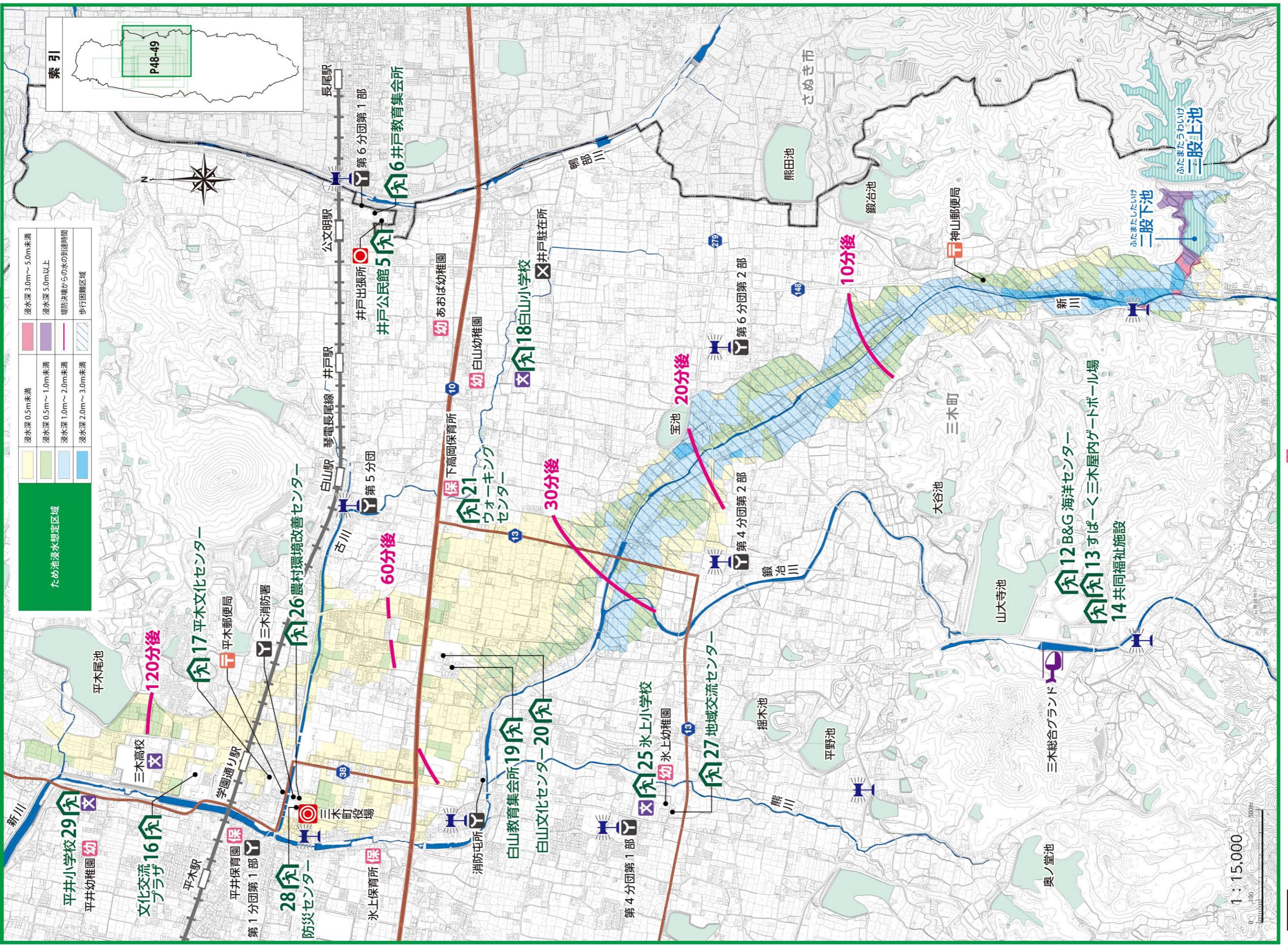
出典：浸水深（平成26年三木町）



ため池ノハザードマップ〈二股上池・下池〉

この地図は、南海トラフ地震などによって、町内の農業用ため池の堤防が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出した状況を想定しています。

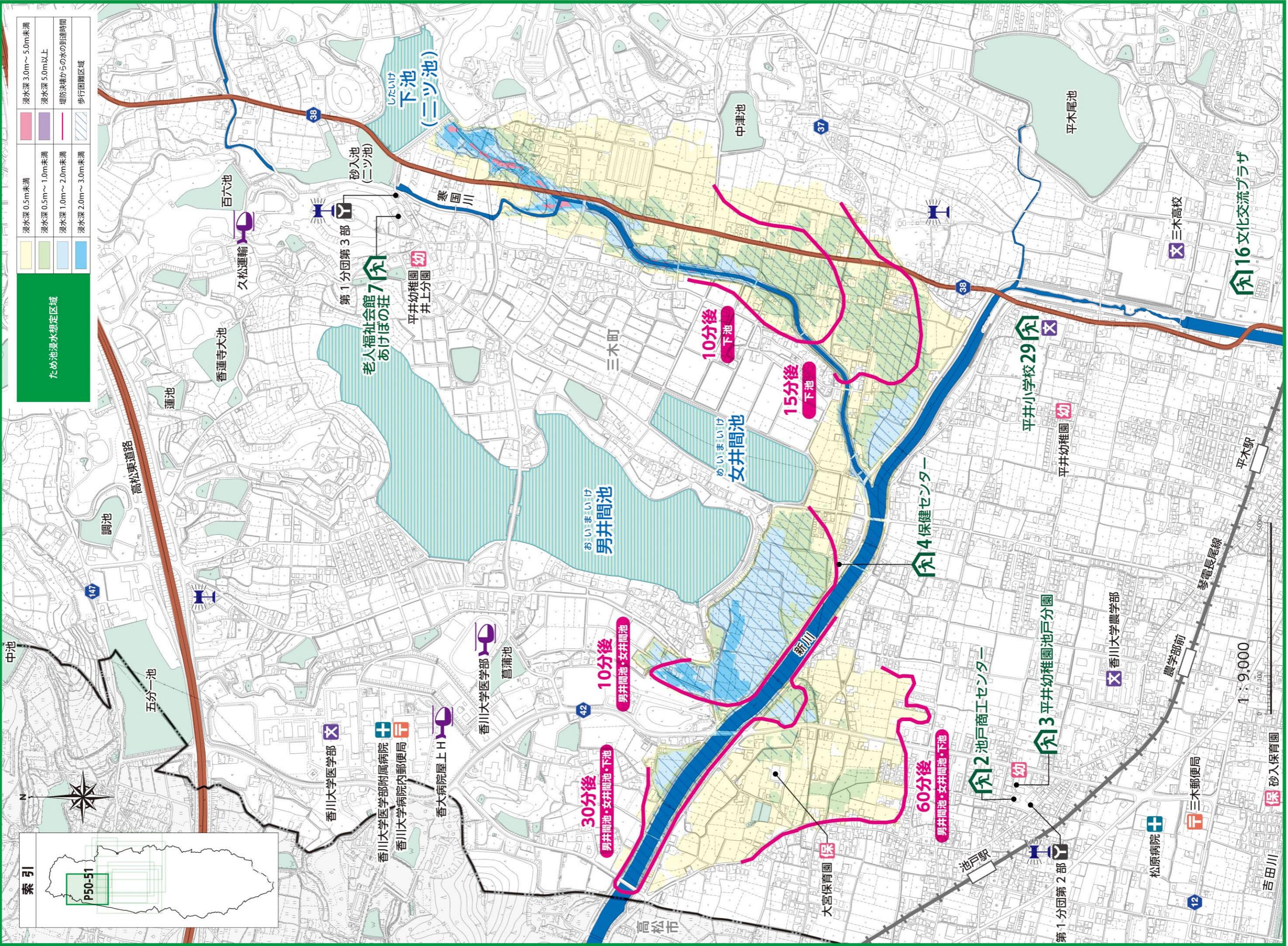
出典：浸水深（平成26年三木町）



ため池ハザードマップ〈男井間池・女井間池〉

この地図は、南海トラフ地震などによって、町内の農業用ため池の堤防が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出した状況を想定しています。

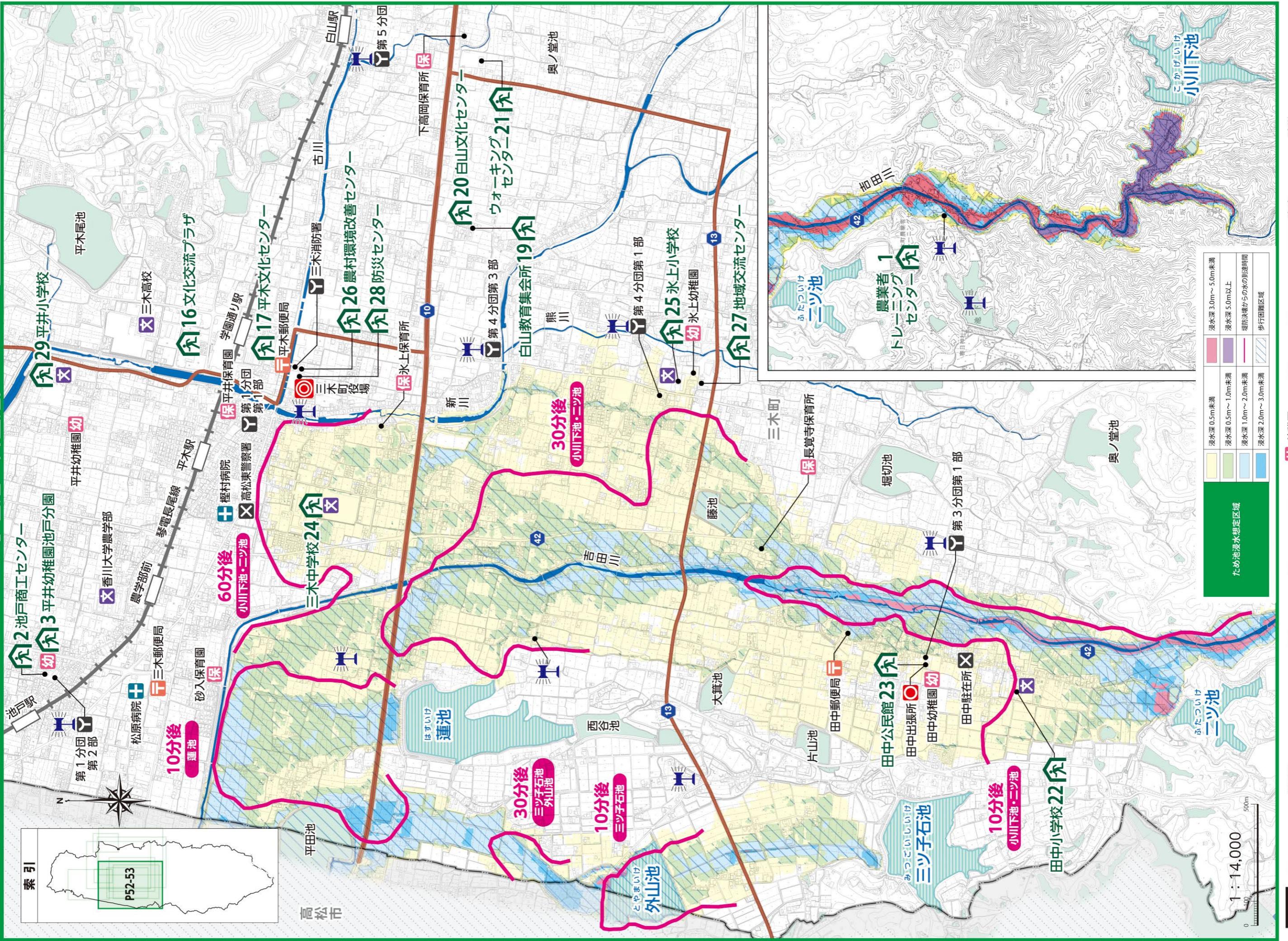
出典：浸水深（平成26年 三木町）



この地図は、南海トラフ地震などによって、町内の農業用ため池の堤防が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出した状況を想定しています。

出典：浸水深（平成26年 三木町）

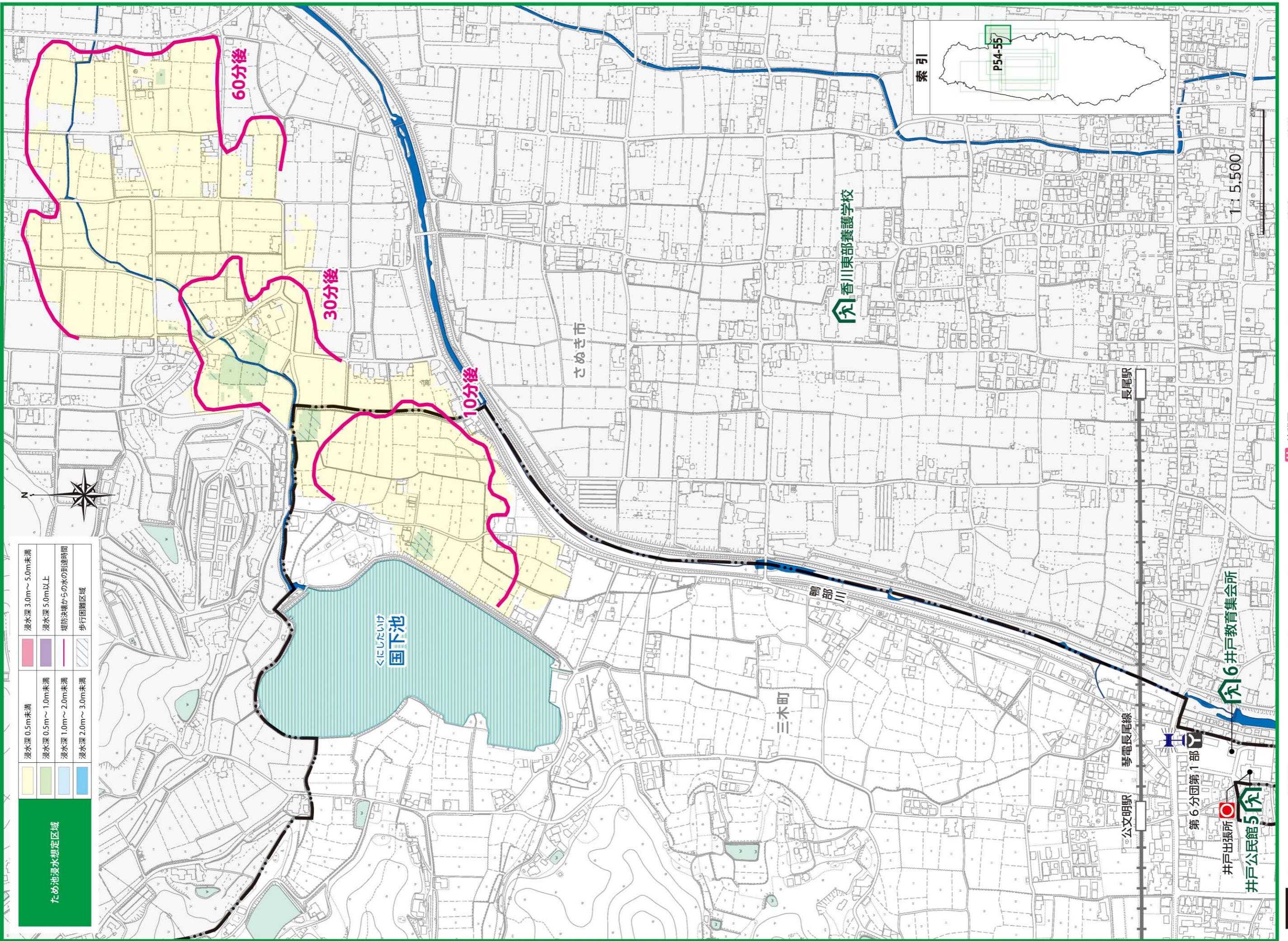
たぬ池ハザードマップ 小川下池・三ツ子石
ため池・外山池・蓮池



ため池ハザードマップ〈国下池〉くにしたいけ

この地図は、南海トラフ地震などによって、町内の農業用ため池の堤防が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出した状況を想定しています。

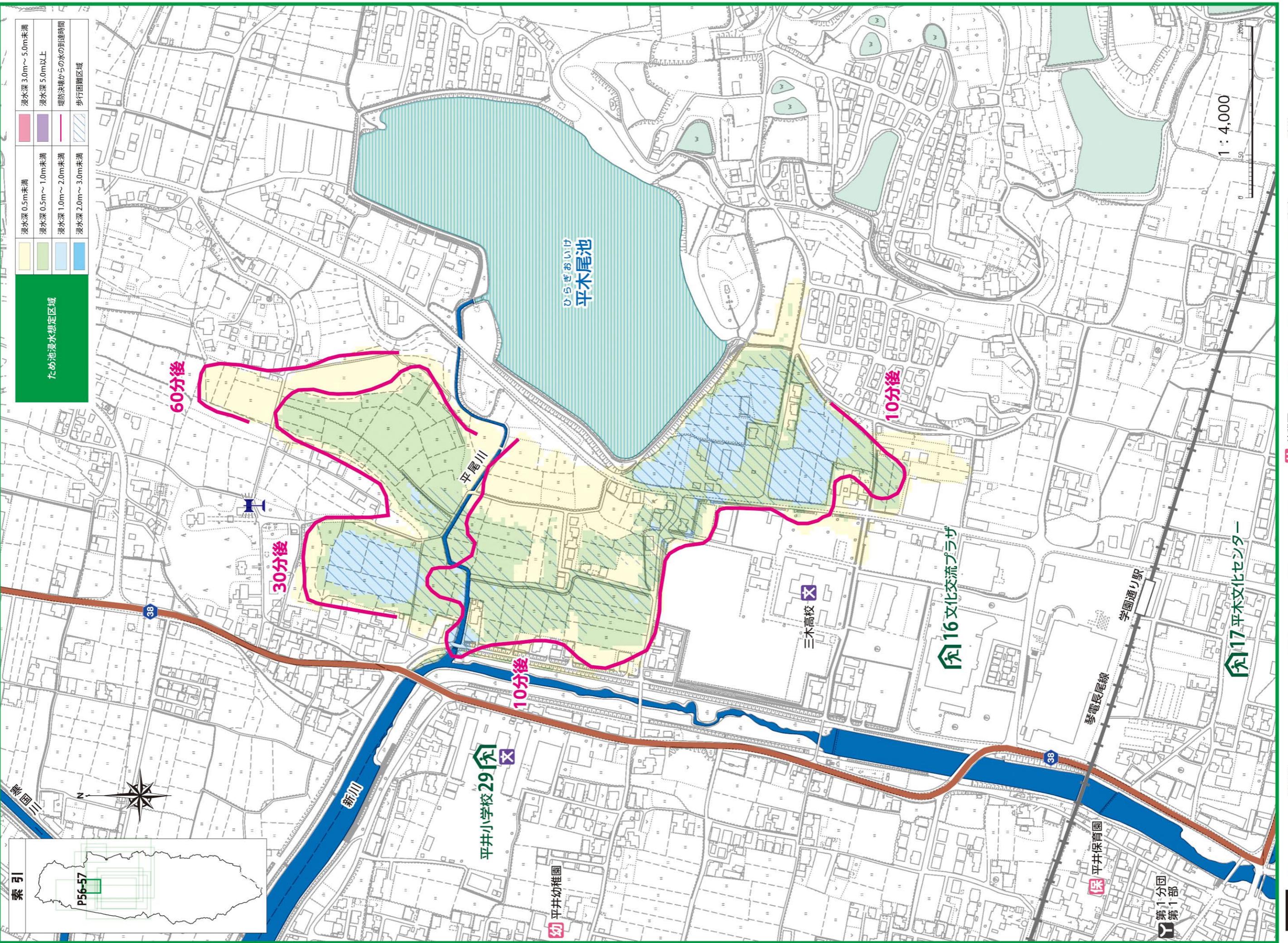
出典：浸水深（平成26年三木町）



ため池／ハザードマップ（平木尾池）

この地図は、南海トラフ地震などによって、町内の農業用ため池の堤防が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出した状況を想定しています。

出典：浸水深（平成26年三木町）



非常時の持ち出し品 チェックリスト

家庭では以下のようなものを備え、定期的にチェックしておきましょう。

非常食

- 乾パン
- 缶詰
- レトルト食品
- 飲料水(1人1日約3ℓ)

生活用品

- 懐中電灯
- ナイフ
- 缶切り
- マッチ
- ライター
- ローソク
- ロープ
- 洗面用具
- タオル
- ティッシュ
- ビニール袋

衣類

- 下着
- くつ下
- 手袋
- セーター
- ジャンパー
- スニーカー

貴重品

- 通帳
- 印鑑
- 現金
- 保険証

医薬品

- いつも飲んでいる薬
- キズ薬
- 胃腸薬
- シップ薬
- 消毒薬
- 鎮痛剤
- 包帯
- ばんそうこう
- ガーゼ
- 脱脂綿
- ハサミ
- ピンセット

その他

- ヘルメット
- 防災ずきん
- 毛布
- 携帯ラジオ
- 予備電池
- 育児用品
- メガネ・コンタクトレンズ

家庭内備蓄のポイント(ローリングストック法)

非常食だからと、普段食べない食料を大量に買い込んで賞味期限切れの時に困ってしまいます。

普段の食料を多めにストックして、古いものから順に使っていき、消費したら補充するという方法にすると、賞味期限もさほど気にならず備蓄量を維持することができます。この方法をローリングストック(家庭内流通備蓄)といいます。



避難所一覧

避難準備情報や避難勧告が発表・発令されたら、身を守るために早めの避難(自主避難)が大切です。危険を察知したら速やかに近くの避難所等に避難しましょう。

NO	名称	住所	電話番号 (市外局番 087)	地震	土砂災害 (ため池以外)	ため池 洪水	ため池 洪水	身体障がい者 トイレ	防災倉庫	AED
1	農業者トレーニングセンター	朝倉 1441	898-8212	●	●	●	●	●	●	●
2	池戸商工センター	池戸 2340-1	891-0876	●	●	○	●	●	●	●
3	平井幼稚園池戸分園	池戸 2340-1	898-0290	●	●	○	●	●	●	●
4	保健センター	池戸 1276-5	898-5658	●	●	○	●	●	●	●
5	井戸公民館	井戸 2679-1	898-6404	●	●	●	●	●	●	●
6	井戸教育集会所	井戸 2631-1	898-3851	●	●	●	●	●	●	●
7	老人福祉会館あけぼの荘	井上 1966-5	898-7650	●	○	●	●	●	●	●
8	旧神山小中学校	奥山 987		●	○	●	●	●	●	●
9	津柳地区コミュニティセンター	奥山 1109-6	899-0013	●	●	●	●	●	●	●
10	鹿庭コミュニティセンター	鹿庭乙 255	899-1138	●	●	●	●	●	●	●
11	神山公民館	鹿庭 1755-1	899-0330	●	●	●	●	●	●	●
12	B & G海洋センター	上高岡 2544-3	899-1155	●	●	●	●	●	●	●
13	すばーく三木屋内ゲートボール場	上高岡 2545-14	899-1155	●	●	●	●	●	●	●
14	共同福祉施設	上高岡 2542-5	899-1122	●	●	●	●	●	●	●
15	旧小篆小中学校	小篆 1351-1		●	○	●	●	●	●	●
16	文化交流プラザ	鹿伏 360	898-9222	●	●	●	●	●	●	●
17	平木文化センター	鹿伏 256-1	898-6892	●	●	○	●	●	●	●
18	白山小学校	下高岡 352-1	898-0257	●	●	●	●	●	●	●
19	白山教育集会所	下高岡 2123-1	898-9116	●	●	○	●	●	●	●
20	白山文化センター	下高岡 2150-1	898-4708	●	●	○	●	●	●	●
21	ウォーキングセンター	下高岡 1459-2	891-1789	●	●	●	●	●	●	●
22	田中小学校	田中 4620-2	898-0501	●	●	●	●	●	●	●
23	田中公民館	田中 3841-1	898-0504	●	●	●	●	●	●	●
24	三木中学校	氷上 31	898-1547	●	●	○	●	●	●	●
25	氷上小学校	氷上 2845	898-0710	●	●	●	●	●	●	●
26	農村環境改善センター	氷上 370-2	891-3318	●	●	●	●	●	●	●
27	地域交流センター	氷上 2871	891-1321	●	●	●	●	●	●	●
28	防災センター	氷上 310	891-3317	●	●	●	●	●	●	●
29	平井小学校	平木 710-1	898-0713	●	●	●	●	●	●	●

利用可能数(平成28年3月現在)

29 28 29 23 19 19 25

※ ●=利用可能 ○=条件付利用可能

救急病院

名称	住所	電話番号 (市外局番 087)
香川大学医学部附属病院	池戸 1750-1	898-5111
松原病院	池戸 3232-1	898-0620
樫村病院	平木 56-7	898-1431

困ったときの連絡先

名称	電話番号
三木町役場	087-891-3300(代)
高松東警察署	110 または 087-898-0110
高松市三木消防署	119 または 087-898-4119
四国電力(株)高松支店 フリーダイヤル	087-831-4144 0120-410-805
NTT西日本 局番なしの携帯電話・PHSからは	113 または 0120-444-113
香川県長尾土木事務所	0879-52-2585